第61回新宿区景観まちづくり審議会
［報告2］資料

損害保険ジャパン日本興亜本社ビル　新美術館計画

2016.11.08

目次

1.計画の概要 …1
2.現況写真 …2
3.上位計画等 …3
4.景観形成方針 …4～11
5.街角景観への配慮 …12～13
6.図面（配置図、平面図、立面図、断面図）…14～23
7.景観シミュレーション …24～27

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

1．計画の概要

概要・建物諸元・事業スケジュール

■事業概要

・損害保険ジャパン日本興亜本社ビル低層部（敷地東側）における美術館整備計画の増築
・2019年夏竣工を目標として事業推進
・既決定の特定街区の変更（壁面線の変更）を検討

■既存本社ビル・新規整備建物の概要

【既存建物緒元】
・敷地面積　：約9,300㎡
・指定容積率　：約940%（加重平均）
・都決容積率　：1,090%
・延床面積　：約124,400㎡
・容積対象面積　：約99,500㎡

【新規整備建物】
・建築面積　：約550㎡
・延べ面積　：約4,000㎡
・高さ　：約40m
・規模　：地上6階、地下1階



東京都新宿区西新宿1-26-1

■新美術館イメージパース



■事業スケジュール（目標）

年	2016				2017				2018				2019				2020
月	4	7	11	12	3	3	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	
重要項目			申出書提出	都市計画審議会	都市計画審議会	都市計画決定		工事着手								竣工		本格開館
都市計画	都市計画手続き				（都市計画決定・告示）													
設計工程	基本構想	基本設計			実施設計													
					（各種届出・確認申請等）													
工事工程					（準備・解体工事）				新築工事							検査		
その他																	開業準備	

■新美術館概要

コンセプト：　進化を続ける街・新宿アートの拠点「アートランドマーク」

ミッション：
＜1＞世界一乗降者が行き交う街「新宿」で世界の逸品に出会える美術館
＜2＞国内外の美術館と交流を促し、質の高い美術展覧会を開催
＜3＞さまざまな価値観に満ちグローバリゼーションを推進する新宿で魅力溢れる美術館をめざす

運営方針：
＜1＞国内外の美術館と協力し、新たな視点で企画する展覧会を開催
＜2＞新進作家への助成や展覧会開催で、未来を担う作家を支援
＜3＞地域の文化拠点として、地域の小中学生の鑑賞教育を推奨

企画の方向性：
＜1＞当社創業1888年に制作されたゴッホ「ひまわり」作品と同時代の西洋絵画を中心として近代・現代の美術作品を紹介していく
＜2＞収蔵する日本の作品と同時代の近代・現代美術作品を紹介していく
＜3＞新進作家の作家活動が継続できるように、中長期的に支援していく活動をする

【新美術館のフロア構成検討案】



※地下1階と中2階で既存本社ビルと接続

【主な収蔵作品】


ひまわり
1888年
油彩・キャンヴァス
100.5 × 76.5cm
作者
フィンセント・ファン・ゴッホ


望郷
1959年
油彩・キャンヴァス
116.1 × 90.7cm
作者
東郷 青児

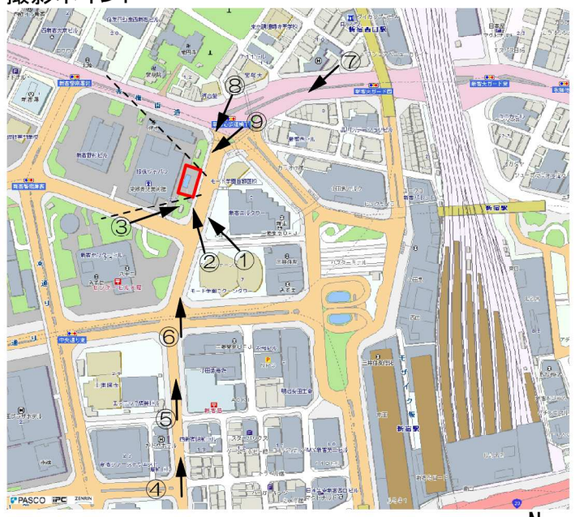
出典：東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館 HP より

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

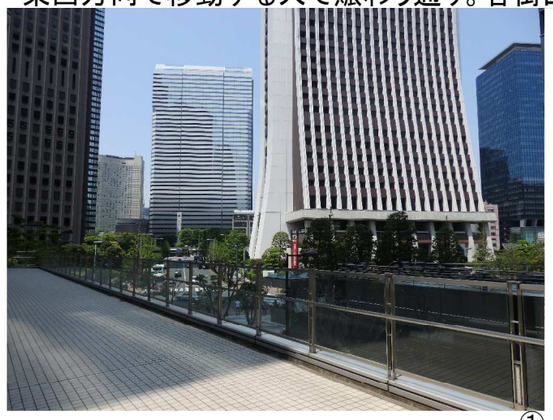
2016.11.08

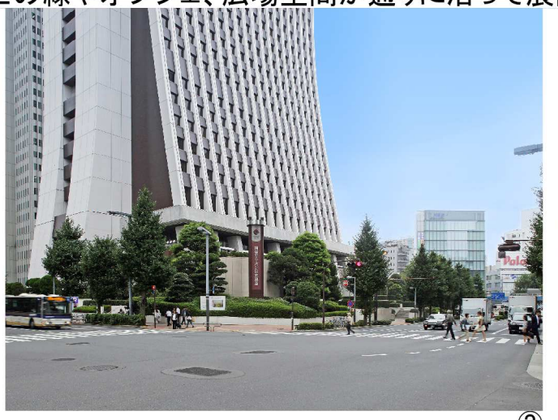
2. 現況写真

撮影ポイント



①～③：5号街路
・東西方向で移動する人で賑わう通り。各街区の緑やオブジェ、広場空間が通りに沿って展開している。

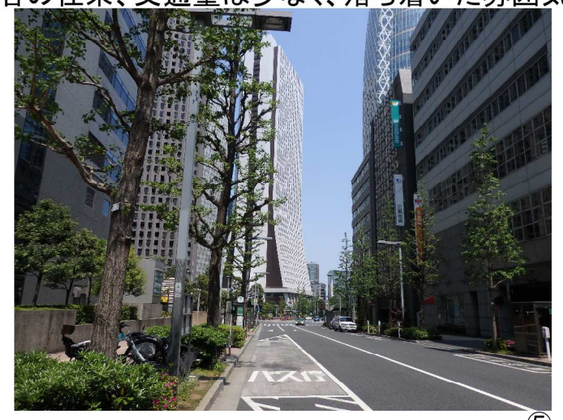

①

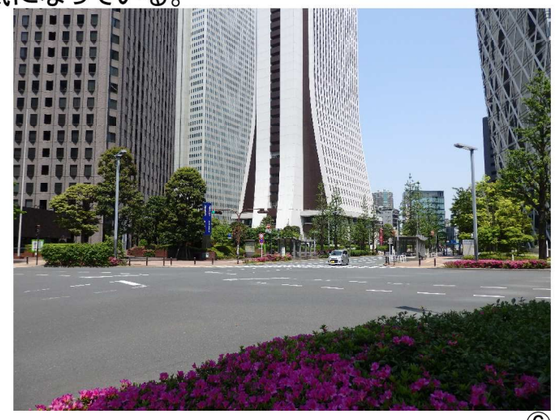

②


③

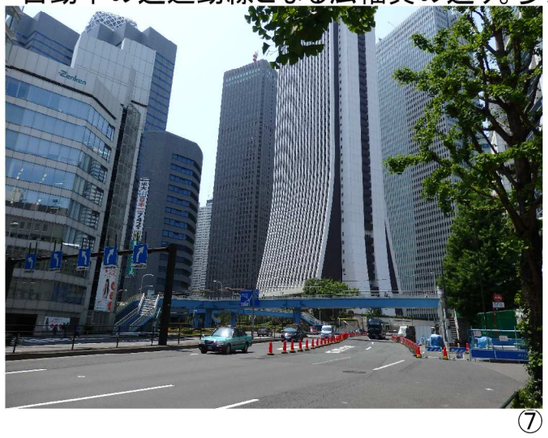
④～⑥：8号街路
・計画地周辺では、周りの通りに比べて歩行者の往来、交通量は少なく、落ち着いた雰囲気になっている。


④

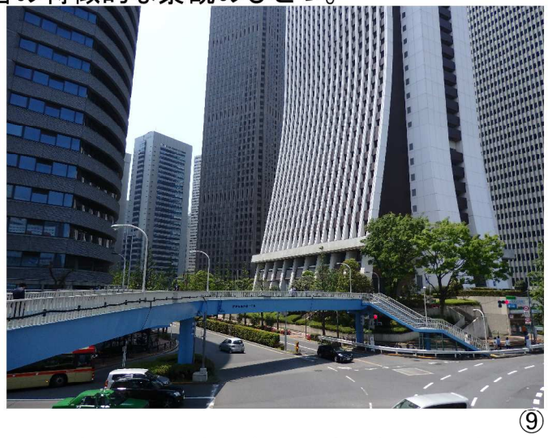

⑤


⑥

⑦～⑨：青梅街道
・自動車の通過動線となる広幅員の通り。歩道橋から超高層ビル群を望むポイントは西新宿の特徴的な景観のひとつ。


⑦


⑧


⑨

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

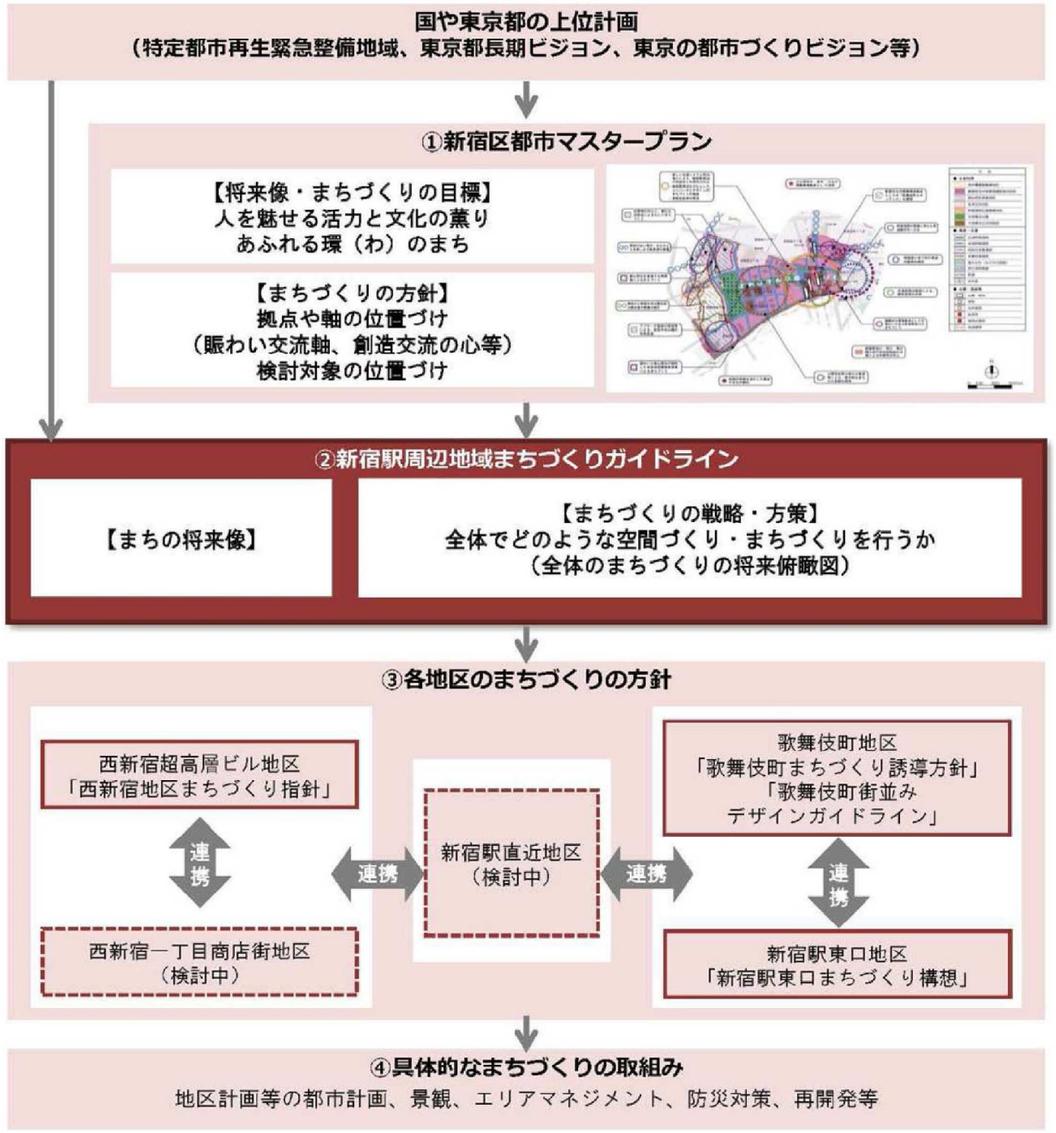
2016.11.08

上位計画における計画地の位置付け

■上位計画と「西新宿地区まちづくり指針」の関係性

◇新宿区都市マスタープランを受けた、新宿駅周辺地域まちづくりガイドラインの下位に、各地区のまちづくりの方針が位置づけられている。西新宿では西新宿懇談会が「西新宿地区まちづくり指針」を策定し、現在も改定の議論を行っている。

■まちづくりガイドラインの位置付け



（出典：新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン　2016年3月）

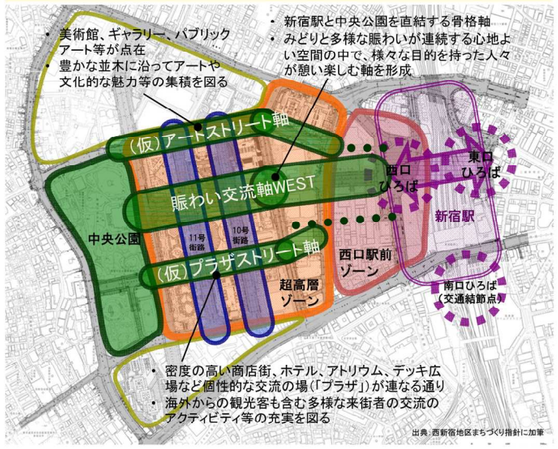
■各検討及び提言、西新宿懇談会を経た「西新宿地区まちづくり指針改定のイメージ」

（一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会・2016年度第1回運営委員会資料）

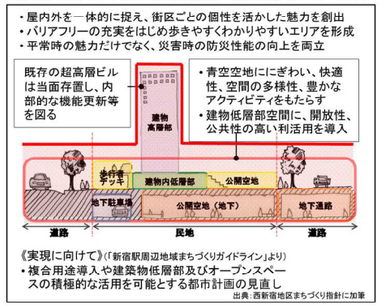
西新宿懇談会「西新宿地区まちづくり指針」(2014.03)・新宿区「新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン」(2016.03)等に掲げるエリアのまちづくりの考え方の具現化

新宿駅（駅前ゾーン）と新宿中央公園の2つの拠点を面的なにぎわいと回遊性でつなぐ

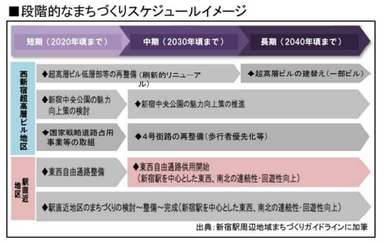
- 新宿駅（駅前）と新宿中央公園を超高層ゾーンのまちづくりでつなぐ。
- 超高層ビルの屋内外にわたる足元空間の刷新（リニューアル）を図り、多様な賑わい機能・アクティビティを導入するとともに、バリアフリーにも配慮された回遊性の高い歩行者ネットワークを形成する。
- 足元空間の刷新に伴う屋内空間の開放等を通じ、平時の賑わい創出と併せて災害時の帰宅困難者受入れなどエリアの防災性能を強化する。



■超高層ビルの屋内外にわたる足元空間の刷新（リニューアル）

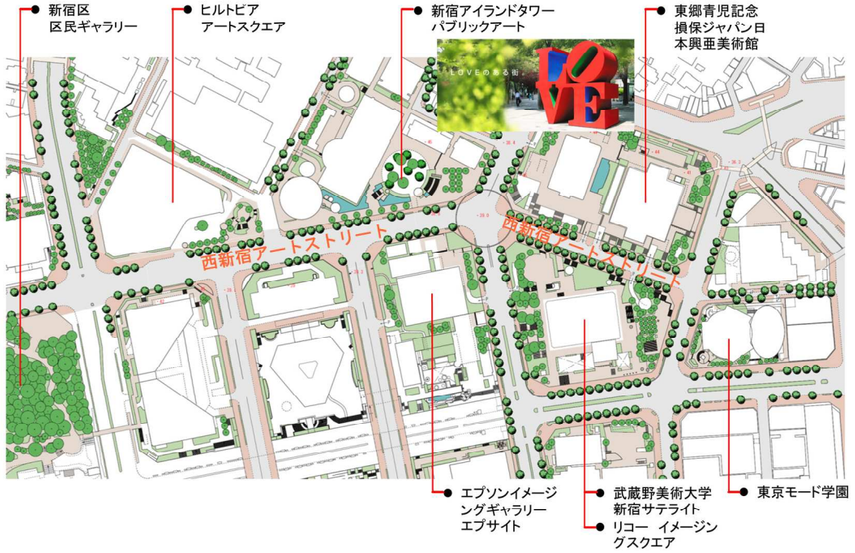


■段階的なまちづくりスケジュールイメージ



■西新宿アートストリート

・美術館やギャラリー、美術大学サテライトキャンパスや専門学校が沿道に立地する5号街路を、アートをテーマとして特徴づける。
・銀座(画廊)、上野(公共美術館)、六本木(現代アート)とは異なるアートシーンを展開する。(例)写真、メディアアート、アジア、ローアートなど



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

景観コンセプト

■上位計画：西新宿地区まちづくり指針

西新宿地区まちづくり指針（西新宿懇談会：平成26年3月）

- 都市空間：「官民オープンスペース」を、「連続的」、「一体的」、「立体的」に捉え、利活用を図る
- 交通：地区全体が回遊・滞在を楽しめる面的な歩行者空間の構築
- エリア防災：災害時に受皿となる「官民オープンスペース」
- 環境：緑の充実や舗装面における環境配慮

■計画地の立地特性

- 超高層ビルが林立する快適なビジネスエリア
- 交通利便性に優れた集客力のある街
- 計画的に整然と整備された街路網とオープンスペース
- 緑豊かな風格ある街並み
- 周辺は雑居ビルが並ぶ既成市街地

■景観コンセプト

西新宿アートストリートの入口に街路を象徴する景観をつくる
～都市景観にアートで貢献～

機能的な超高層オフィスビル群として成熟した西新宿の街並みの中には、1976年開館の美術館も40年の歴史を積み重ねている。新たな美術館として街並み形成に寄与することで、西新宿の街の価値を高めることが事業主の社会貢献の一つです。

- 西新宿アートストリート軸の入口となる景観を彩る美術館
- 周辺街路の特徴を踏まえた計画地のゾーニング
- 既存本社ビルと美術館のフォルムとの対応
- 長く親しまれてきた美術館としての伝統を継承

■景観形成方針

方針1：既存本社ビルと呼応した建物形状

方針2：本社ビルや周辺ビルとの調和に配慮した品格のある建物色彩

方針3：アートストリートの入口に街角の解放感を確保した配置計画

方針4：周辺建物のスカイラインと調和した建物高さ

方針5：街並みの表情を豊かにする低層部

方針6：計画地に人を引き込む歩行者ネットワークの整備

方針7：憩いの場となるオープンアートスペースの創出



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

方針1：既存本社ビルと呼応した建物形状

■東郷青児のフォルムをモチーフにした建物形状

1976年に開館した損保ジャパン日本興亜東郷青児記念美術館
東郷青児の絵画に特徴的なモチーフ

・柔らかなフォルム、陰影
・フォルムと直線的な背景との組み合わせ
・彫塑的であり、陶器のように滑らかな質感を感じさせる形状



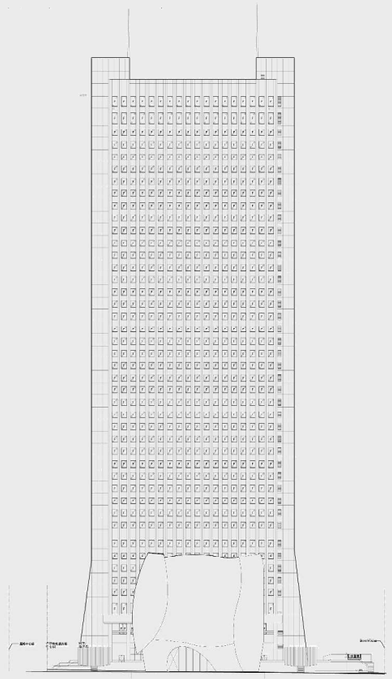


ボリューム構成

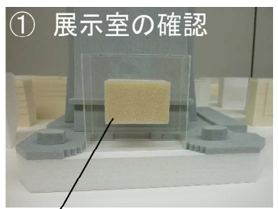


断片形状

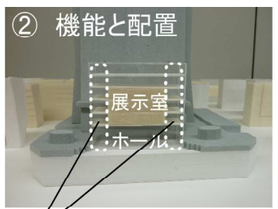
直線的な背景の
中に曲線の構成



■必要な規模と美術館機能・動線を含めたボリューム検討



展示室ボリューム
開口は設けられない



たて動線（来館者・
サービス用）



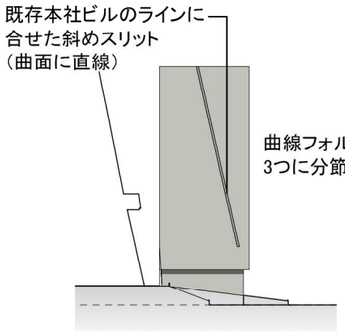
ボリュームの分節



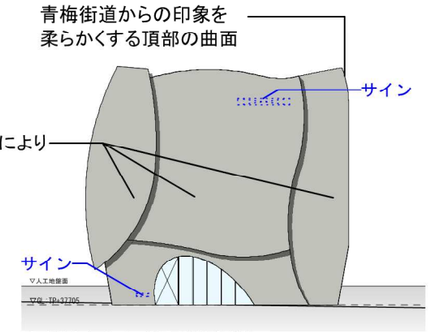
機能による分割線と本社ビ
ルの曲線を取り込んだ造形

■「平」と「曲」の組み合わせにより既存本社ビルとの呼応を特徴づける

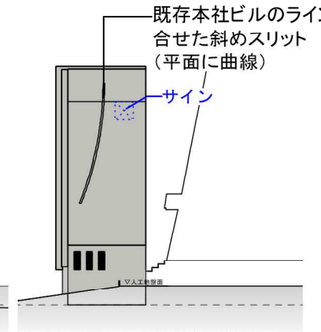
南側（ 5号街路側）：曲面に直線のスリット
北側（青梅街道側）：平面に曲線のスリット
東側（ 8号街路側）：平面に曲線の3分節



南側立面図（5号街路側）



東側立面図（8号街路側）



北側立面図（青梅街道側）

※美術館サイン、ロゴが決まり次第、全体のバランスを調整します。
※ファサードの表情付けは、開口部を設ける方法の他、外装素材の目地、スリッドなども選択肢として今後検討します。

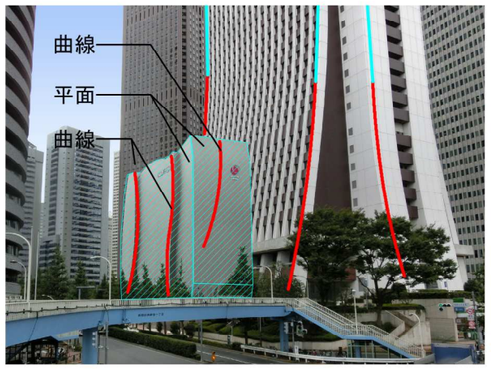
■既存本社ビルと美術館のフォルムが呼応した街角景観

5号街路側の街角景観



曲面の多い街角であることから、既存本社ビルと呼応する曲面に直線のスリットを入れる

青梅街路側の街角景観



超高層ビルの垂直面が印象的な街角であることから、平面に既存本社ビルと呼応した曲線のスリットを入れる

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

方針2：周辺建物に調和し、圧迫感の低減にも配慮した建物色彩

■既存本社ビルや周辺ビルとの調和に配慮し、基本色は明るめの茶系の品格のある低彩度色とする
■耐久性のある金属パネルで建物を構成し、テクスチャーは上品で落ち着いた質感とする


フォトモンタージュ（コクーンタワーデッキ上から）


フォトモンタージュ（青梅街道側から）

■色相は暖色系（5YR～5Y）とする

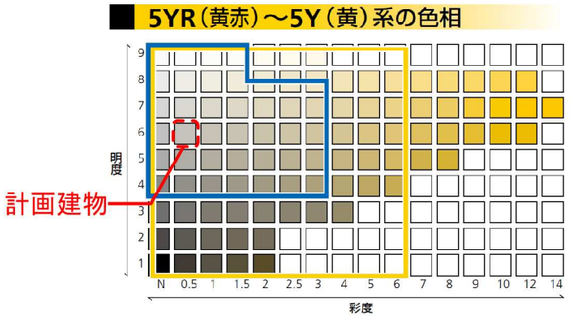
外壁基本色の色相は、既存本社ビルが白（N）と茶系（10R）、周辺建物の多くが暖色系を基本としているため、暖色系（5YR～5Y）とすることで、周辺建物との調和を図る

既存本社ビルの色彩

部位	素材	マンセル値
基本外壁	塗装	N9.5
基本外壁	塗装	10R 3/2

■明度は中・高明度（明度：6）とする

外壁基本色の明度は、既存本社ビルの明度（3及び9.5）、周辺の超高層ビル群で見られた中・高明度色（4～8.5）の中間をとり、明度6とすることで、周辺建物との調和を図る



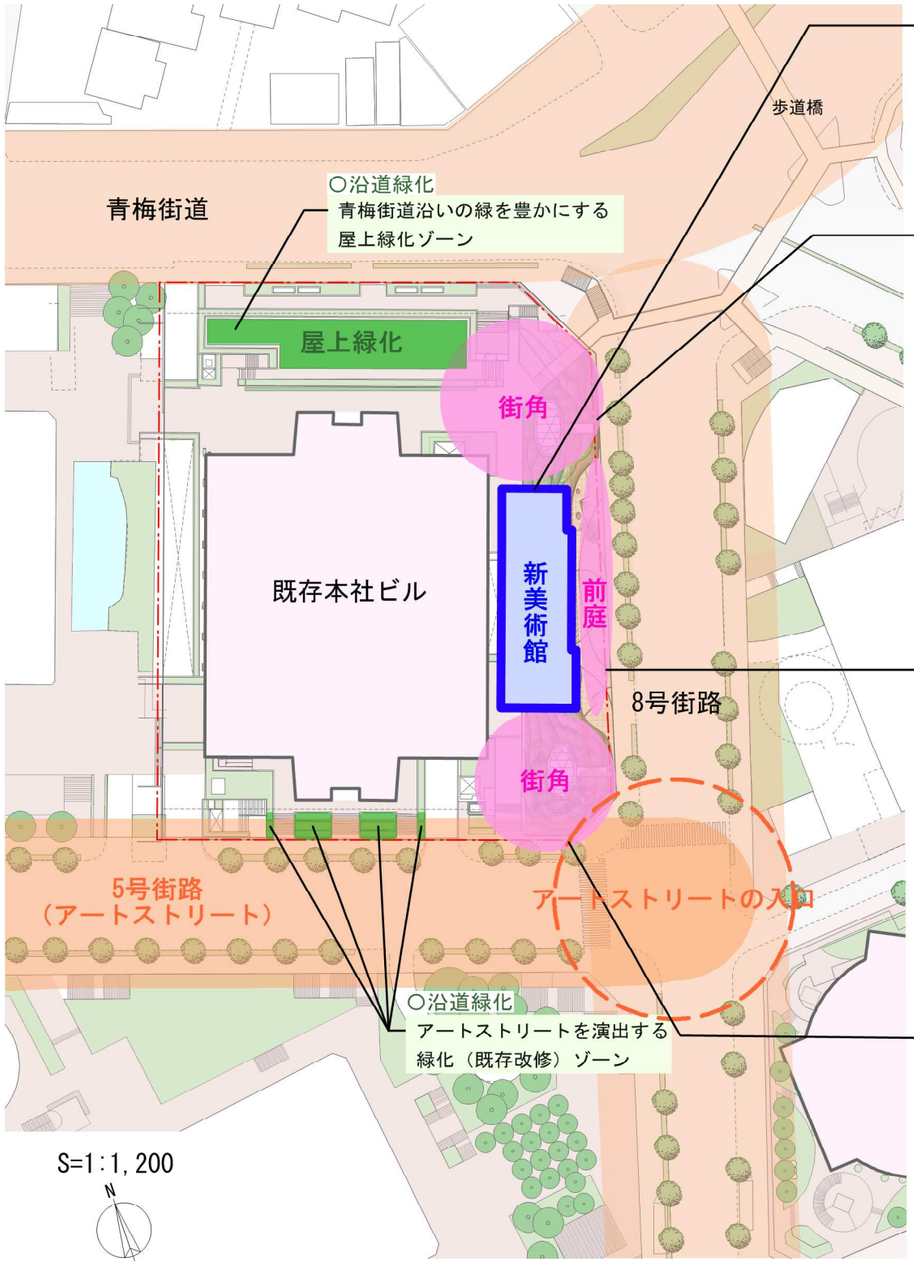
■彩度は低彩度（彩度：0.5）とする

外壁基本色の彩度は、既存本社ビルが2以下、周辺の超高層ビル群の外壁基本色の彩度が2.5以下であることから、低彩度（彩度0.5）とし、周辺建物との調和を図る

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

方針3：アートストリートの入口に街角の解放感を確保した配置計画

■周辺街路の特徴を踏まえた計画地のゾーニング



・現状は有効に活用されず、アクティビティが感じられない既存の車路・階段・池などの範囲に美術館を新しく整備

○計画建物

美術館

・アートストリートの入口に美術館を配置
・本社ビルのコーナーを阻害しない建物配置
・周辺建物との離隔、見合いに配慮した建物配置

○オープンスペース



青梅街道×８号街路の街角

・青梅街道の湾曲部に大きなオープンスペースを確保し、既存本社ビルのラインを維持



８号街路沿いの前庭

・美術館エントランスと一体となった前庭空間を演出



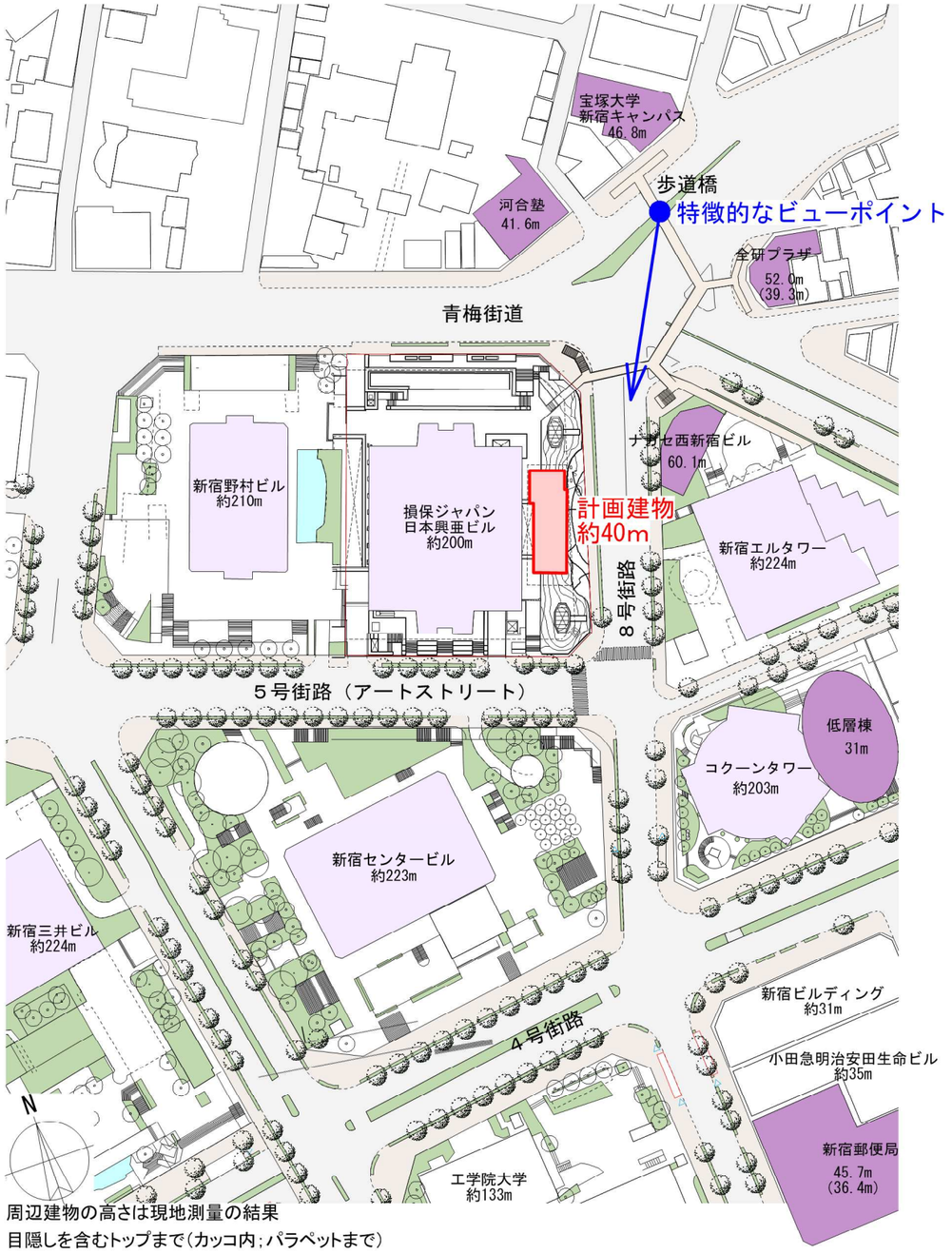
５号街路×８号街路の街角

・コーナー部を大きく開けて開放感を確保し、既存の緑を活かして緑の連続性を継承

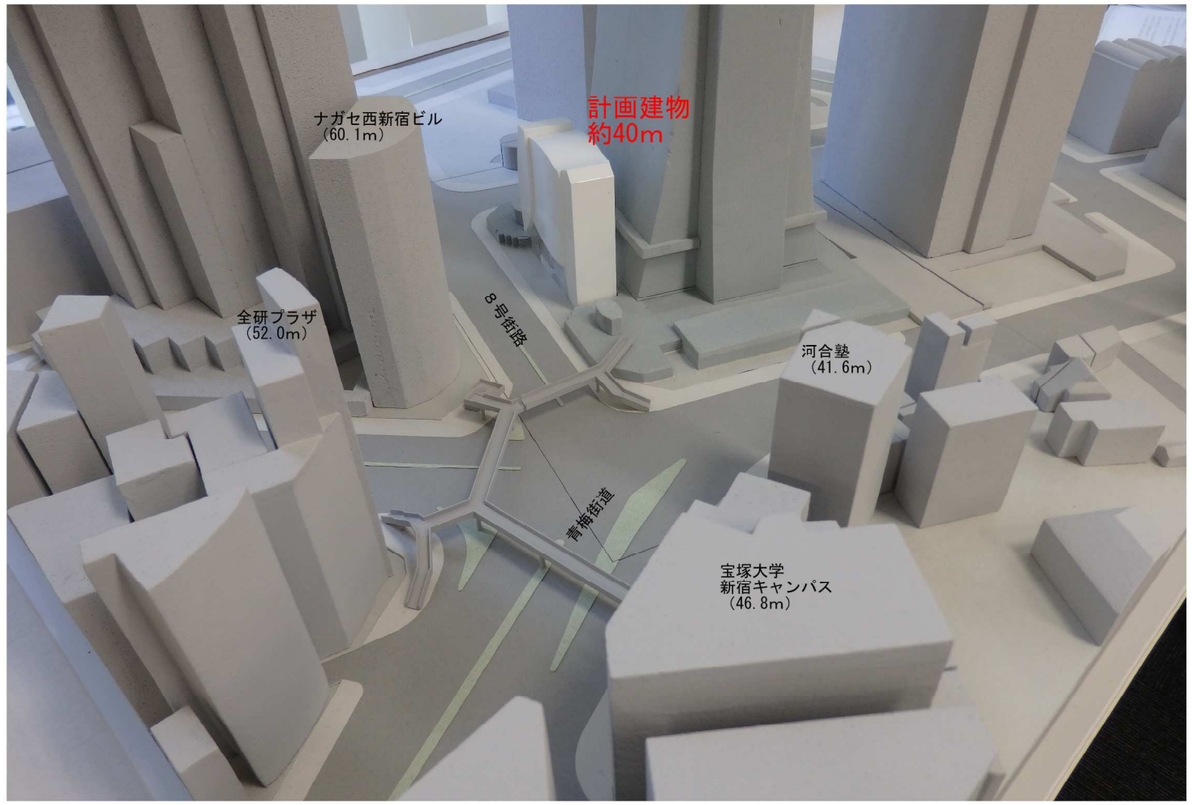
※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

方針4：周辺建物のスカイラインと調和した建物高さ

■計画建物の高さは、周辺建物のスカイライン、特に歩道橋が超高層ビル群を望める場所として、西新宿の特徴的なビュ―ポイントのひとつとなっているため、
青梅街道沿いの街角景観に調和する高さとする



周辺建物の高さは現地測量の結果
目隠しを含むトップまで（カッコ内；パラペットまで）



■青梅街道沿いのスカイライン（40m～60m級）に調和する高さ

・計画建物は街角と8号街路からの壁面後退を大きく確保しつつ、周辺と調和した高さとする
・計画地周辺では、超高層ビル群により構成される200m級のスカイラインのほか、青梅街道沿いのビル群により構成される40～60m級のスカイラインもみられることから、計画建物の高さを約40mとする



■周辺の超高層からの視線に配慮した頂部デザイン

・屋外設備を直接視線にさらすことなく、外壁を屋外設備高さまで立ち上げ、上部はルーバー等で視覚的に配慮

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

方針5：街並みの表情を豊かにする低層部

■低層部の開口により街並みの表情を豊かにする

・美術館低層部（1～2階）には開口を設け、街並みの表情を豊かにする

・美術館ホール（1～2階）は、ミュージアムショップ等を計画し、外部にも表情を演出する

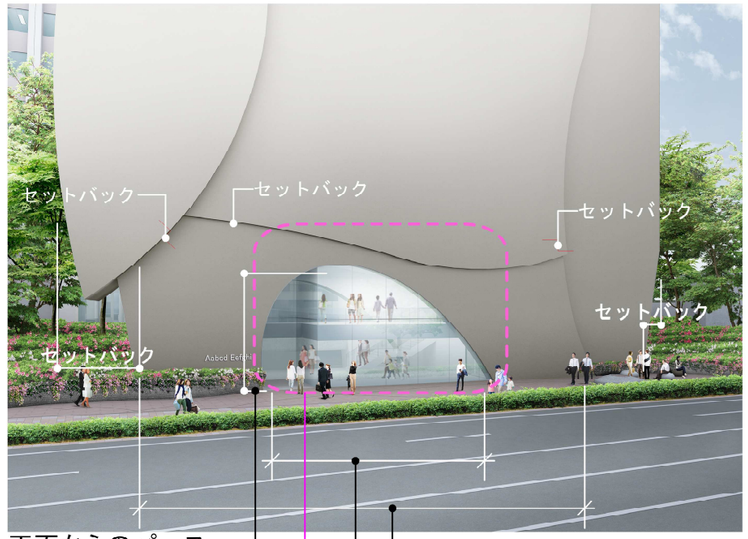
・人が溜まる前庭空間により、低層部の賑わいを豊かにする



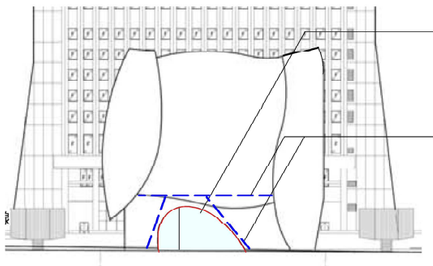
南東からのパース



北東からのパース



正面からのパース



・既存本社ビルより美術館の間口は小さくしてコーナーは空け、圧迫感の低減のために、植栽や、防犯を含めた足元の照明計画、壁面の仕上による映り込みなどを検討する

・計画は限られた敷地を最大限に活用し内部空間を確保する計画とし、内部に柱が無い計画し、無柱空間での最大開口を確保



○ エントランスとしての顔づくり

・吹抜けポーチにより、美術館のアプローチ空間としての設えを整える

・開放的な透明ガラスを通して、歩道・前庭との視覚的な連続性を確保

・美術館を通して、8号街路から本社ビル側までの連続性を確保し、見る／見られるの関係を創出

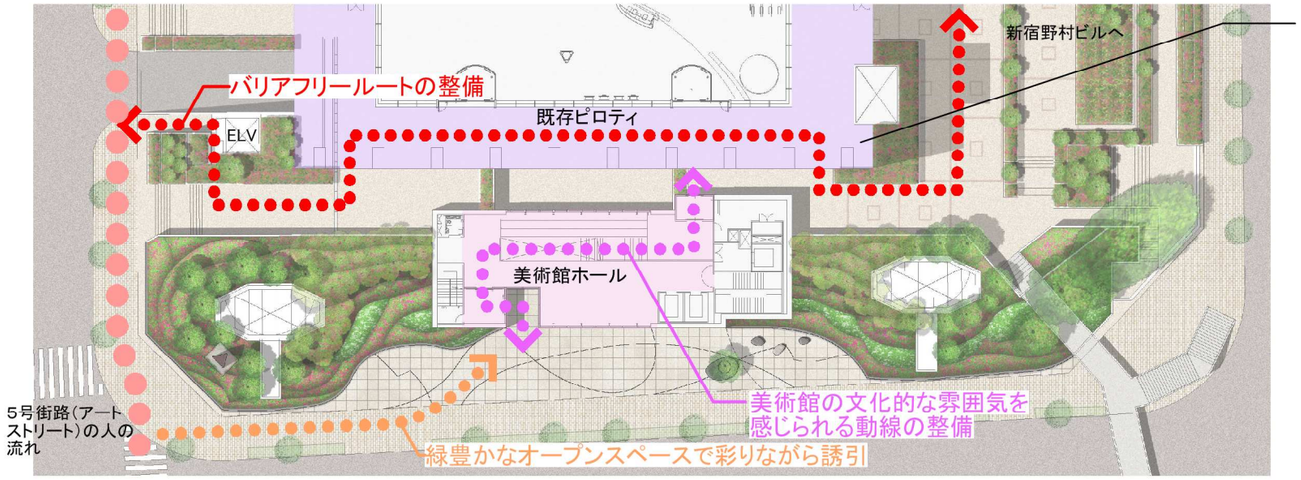
・アーチ状の開口の奥に吹き抜けを設け、その先には憩いの場（ミュージアムショップ・カフェ）を設ける

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

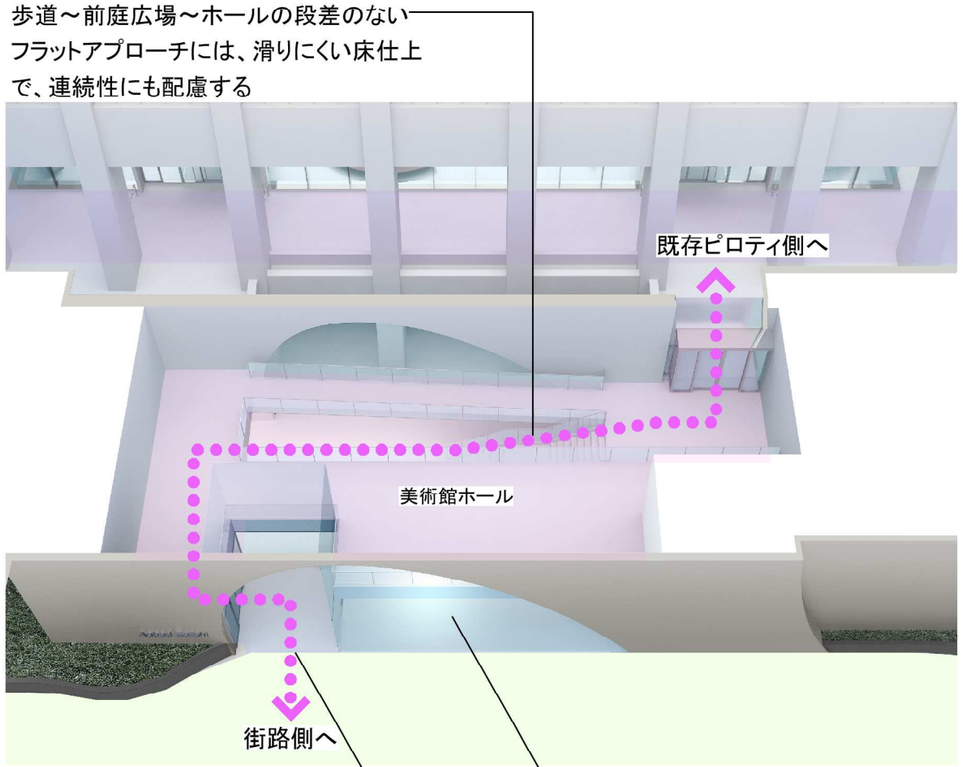
2016.11.08

方針6：計画地に人を引き込む歩行者ネットワークの整備

■フラットなアプローチ空間を形成し、5号街路（アートストリート）からの人の流れを緑豊かなオープンスペースで彩りながら誘引する
■前庭空間のオープンスペース・美術館・既存本社ビルに通じる動線を美術館の文化的な雰囲気が感じられるようにする
■従来からのデッキ上にアクセスするルートをバリアフリーで整備する



ストリートダンサーが活動しているピロティ空間（既存本社ビル）については、そのまま残す計画とし、美術館開館後の運用面については慎重に検討する

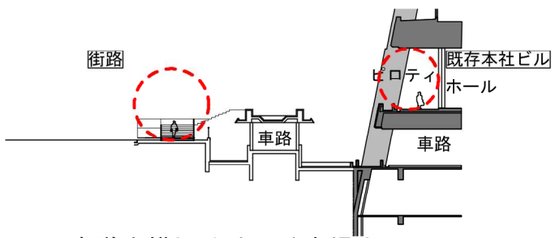




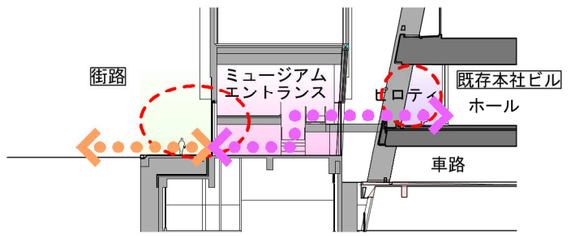
南東からの現況写真



南東からのパース



・歩道を横切る地下駐車場出口
・レベル差のある街路から既存本社ビルへのアプローチ空間



・歩車分離した安全安心な歩行者空間
・街路から美術館へはレベル差がないフラットなアプローチ

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

方針7：憩いの場となるオープンアートスペースの創出

■美術館の前面に人々を誘引する前庭空間の創出

・6m×50mの前庭空間を歩道に沿って確保し段差がないスペースを創出

・舗装は歩道部分とのコントラストを弱め、歩道空間と一体的な広がり感を確保



舗装イメージ

・プランター、ベンチなどのファニチャー類と植込みの立上りで高質な前庭に彩りを添える



プランターイメージ



新設植込み立上りの質感イメージ



ベンチイメージ

■既存の街角の緑を継承しつつ、立体的に再構成された緑豊かな街角空間の確保

・既存樹木を極力保存し、現状の緑量を確保

・給排気塔の外周に壁面緑化し、歩行者目線からの緑量を増やす



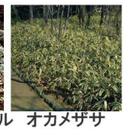
オオイタビ



コバノランタナ



ビンカマジョール



オカメザサ



ツツジ類



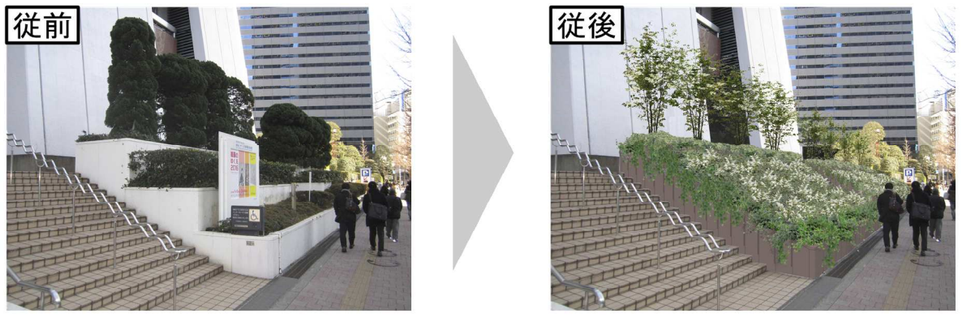
モミジ

■5号街路（アートストリート）、青梅街道沿いの沿道緑化

・5号街路沿いは、既存植栽部を改修し、目に見える緑の印象を増やす

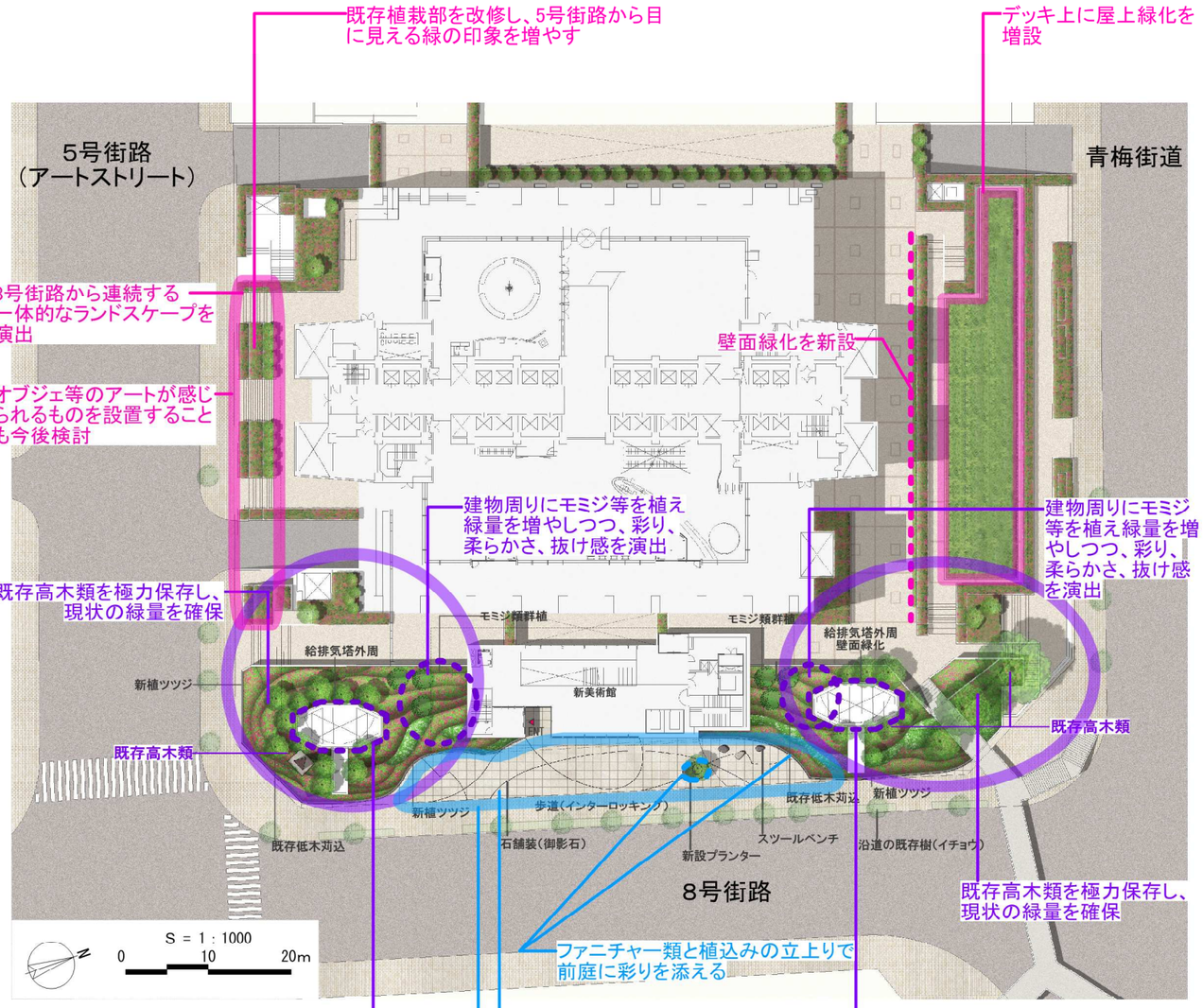
・5号街路沿いに、オブジェ等のアートが感じられるものを設置することも今後検討

・青梅街道沿いのデッキ上に屋上緑化を増設



5号街路（アートストリート）沿いの既存植栽部の改修イメージ

※…アートストリートは一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会による統一的なデザインガイドラインが整えられましたら、それにしたがい整備を進める予定です。



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

5号街路（アートストリート）の街角景観

・5号街路の空間特性
東西方向へ移動する人で賑わう通りであるとともに、
各街区の緑やオブジェ、広場空間が通りに沿って展開

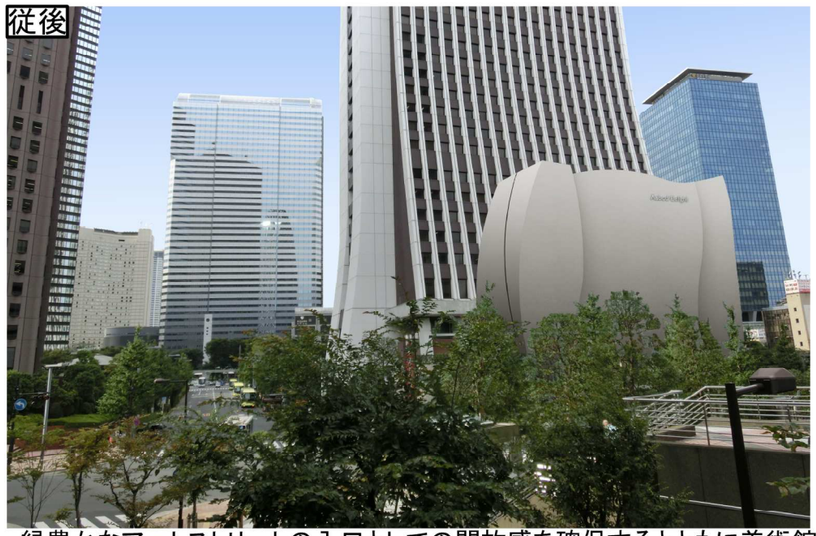
豊かな並木に沿ってアートや文化的集積が図られ、新宿駅と新宿中央公園を結ぶアートストリート軸としての性格・特徴を強化する緑の連続性やオープンスペースを確保した配置

Ⓐ コクーンタワーデッキ上より

従前



従後



・緑豊かなアートストリートの入口としての開放感を確保するとともに美術館機能がアートストリート軸としての特徴を強化
・街角の緑、街路樹の緑の中に浮かぶ街並みを演出

Ⓑ 8号街路交差点南東側

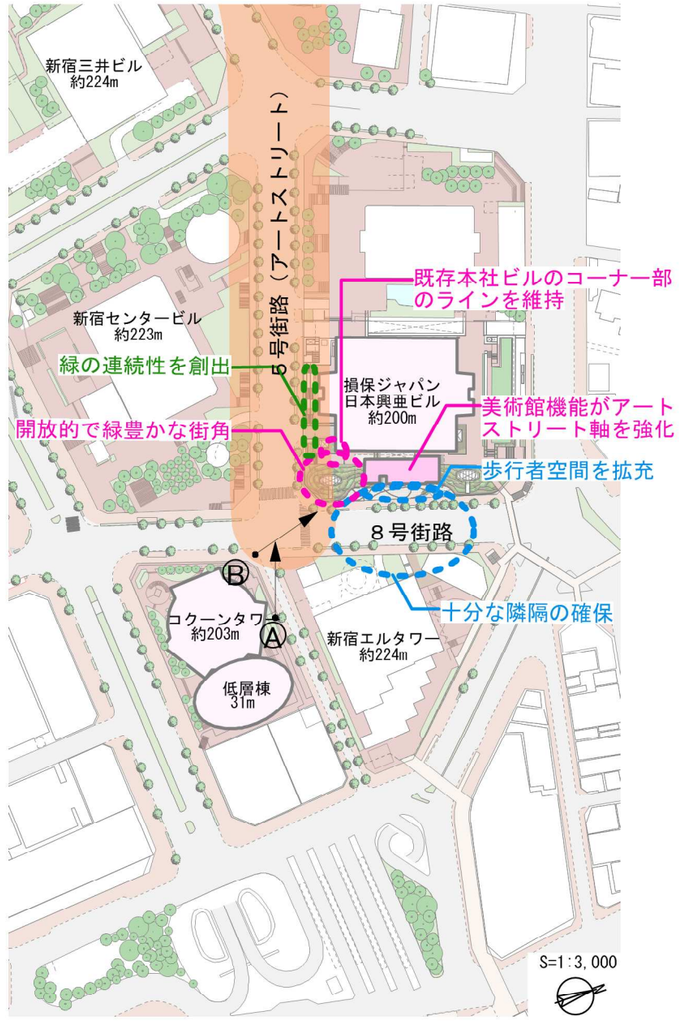
従前



従後



・緑の並木道が特徴的なアートストリートと8号街路との交差点周りにはオープンスペースを確保し、緑豊かな街路空間を継承
・アートストリート沿いのファサードには「曲面に直線スリット」で表情をつくり、既存本社ビルの特徴的な緩やかなラインに呼応



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

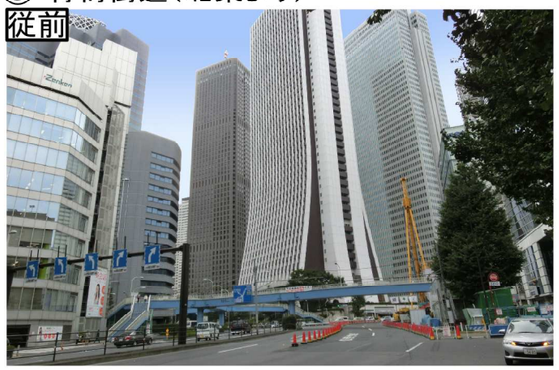
青梅街道の街角景観

・青梅街道の空間特性
自動車の通過動線となり、広幅員の道路と歩道橋、超高層ビルにより活気が感じられる

青梅街道の湾曲部に街角のアクセントとなる沿道景観の創出を目指す

Ⓒ 青梅街道（北東より）

従前



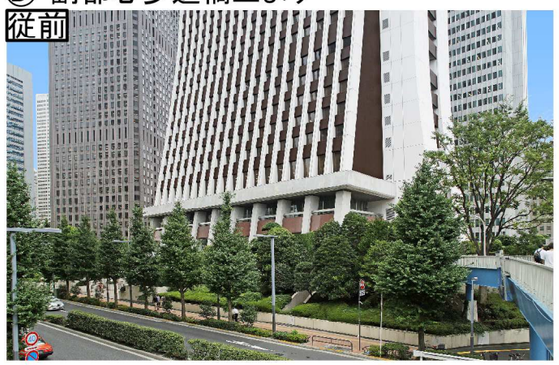
従後



・青梅街道の湾曲部に街角のアクセントとなる沿道景観の創出
・既存建物より美術館の見付を小さくすることで、既存建物の特徴的な曲線形態が見えるよう配置

Ⓓ 副都心歩道橋上より

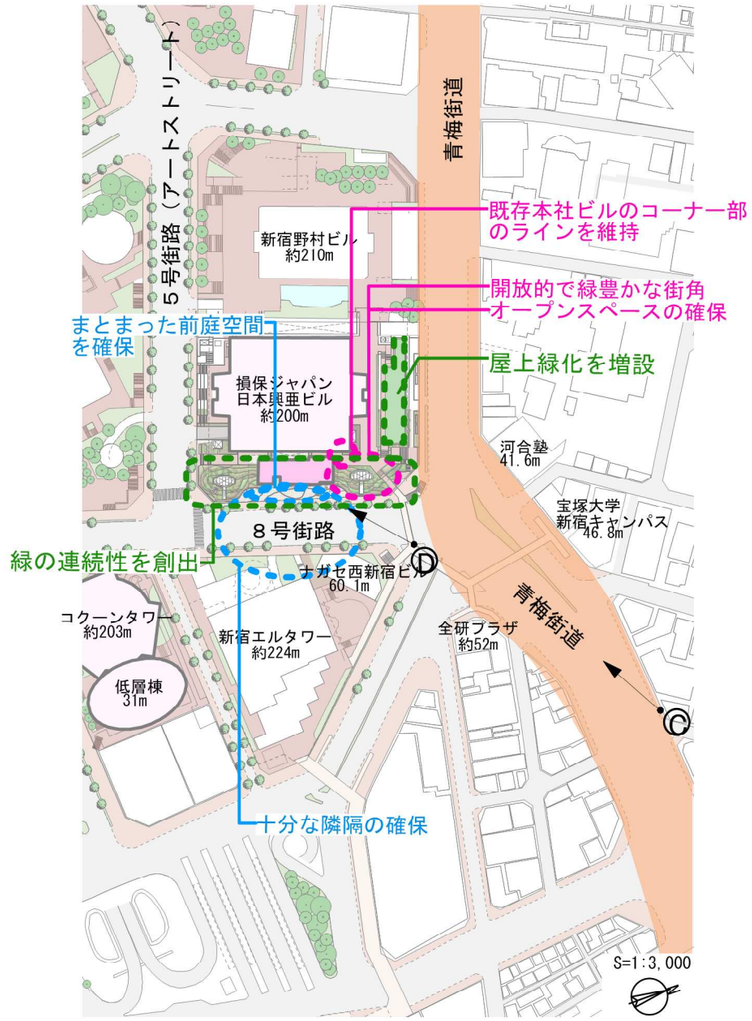
従前



従後



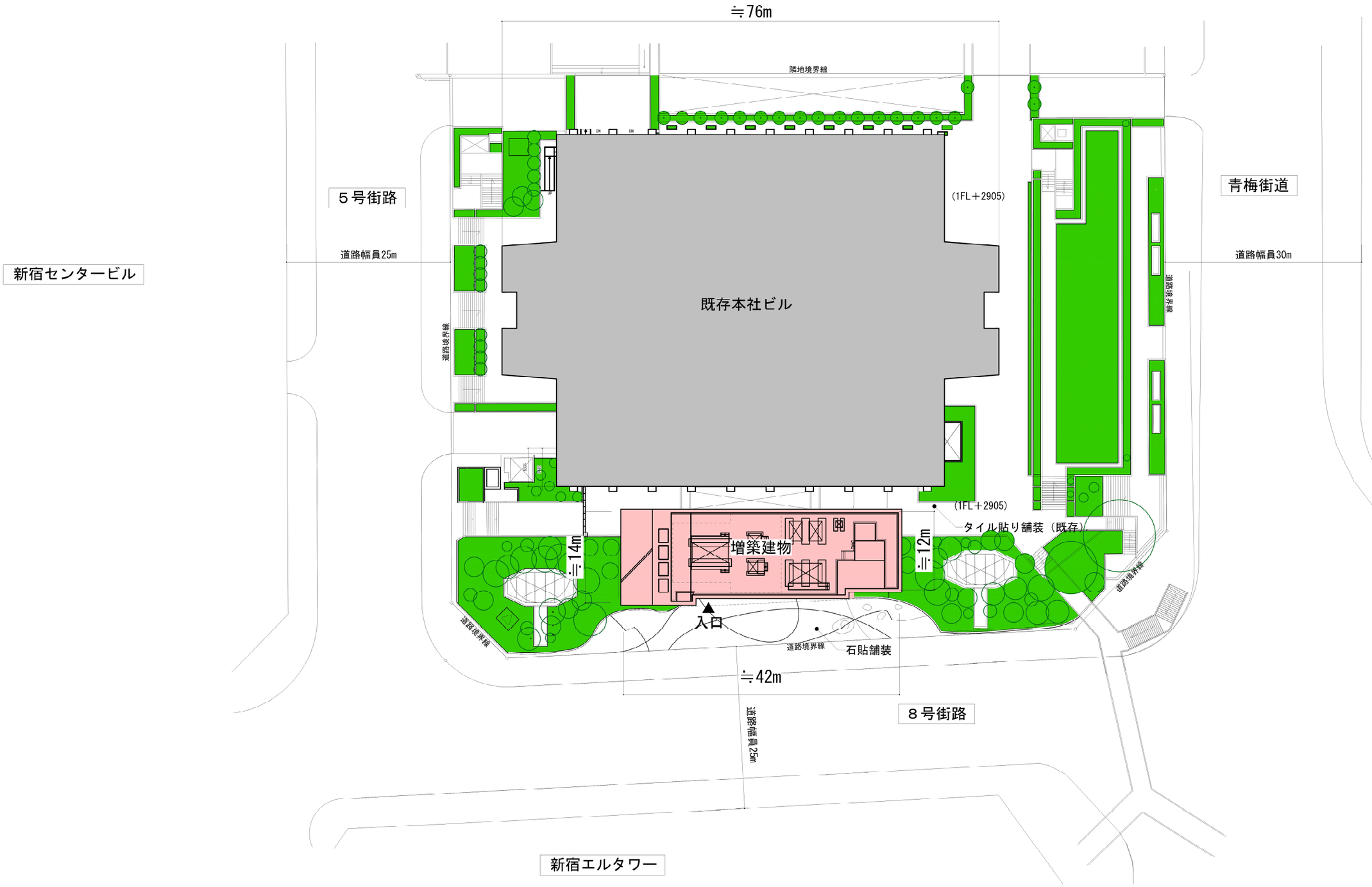
・青梅街道沿いのファサードは「平面に曲線のスリット」で北面に表情をつくる
・街区のコーナーに空地を維持し、街角の既存樹木を活かすことで緑の連続性と開放感を確保



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

配置図



S＝1：600

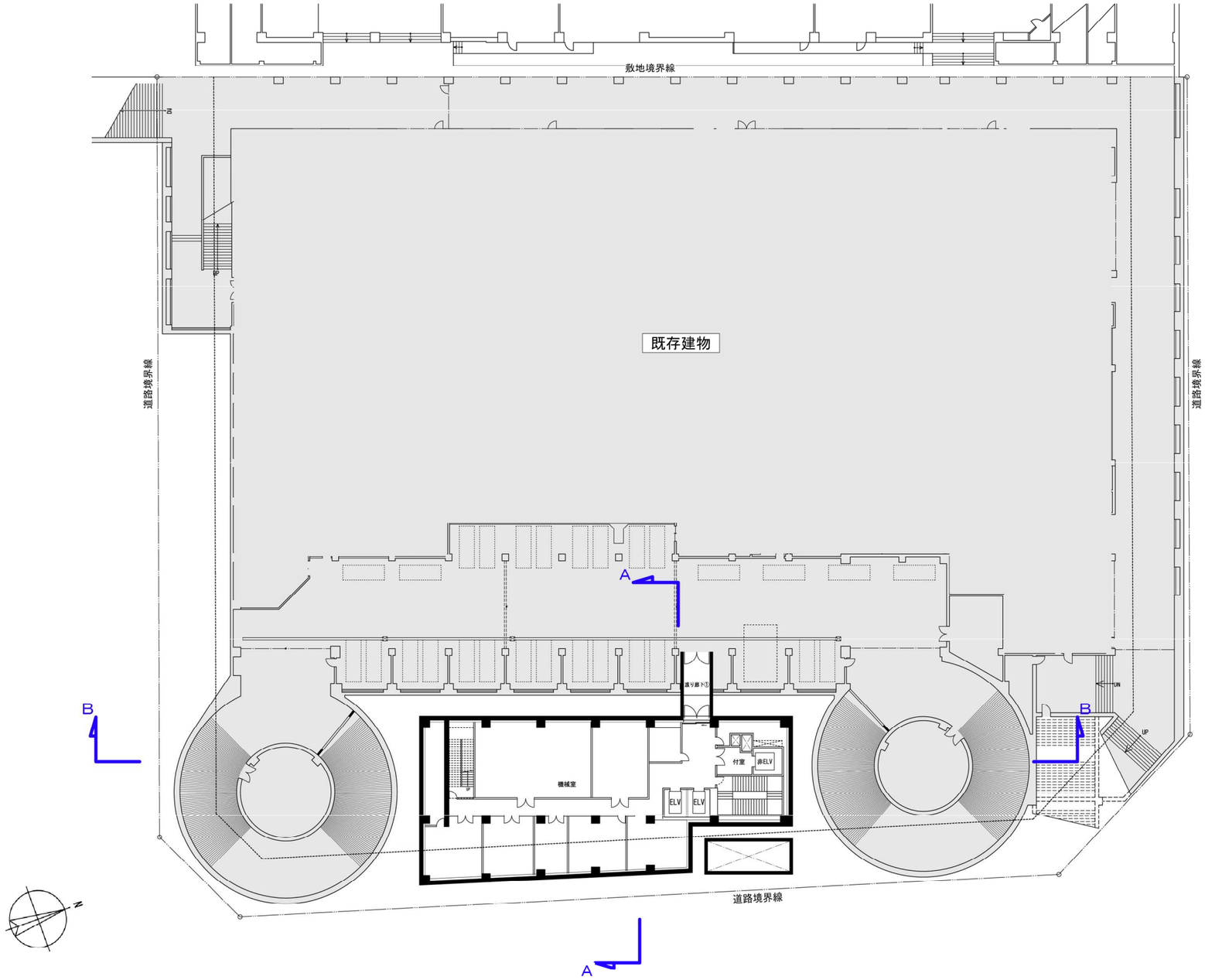
※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

平面図

■B1階平面図（既存B2階）　S=1:500

…既存部分（工事範囲外）

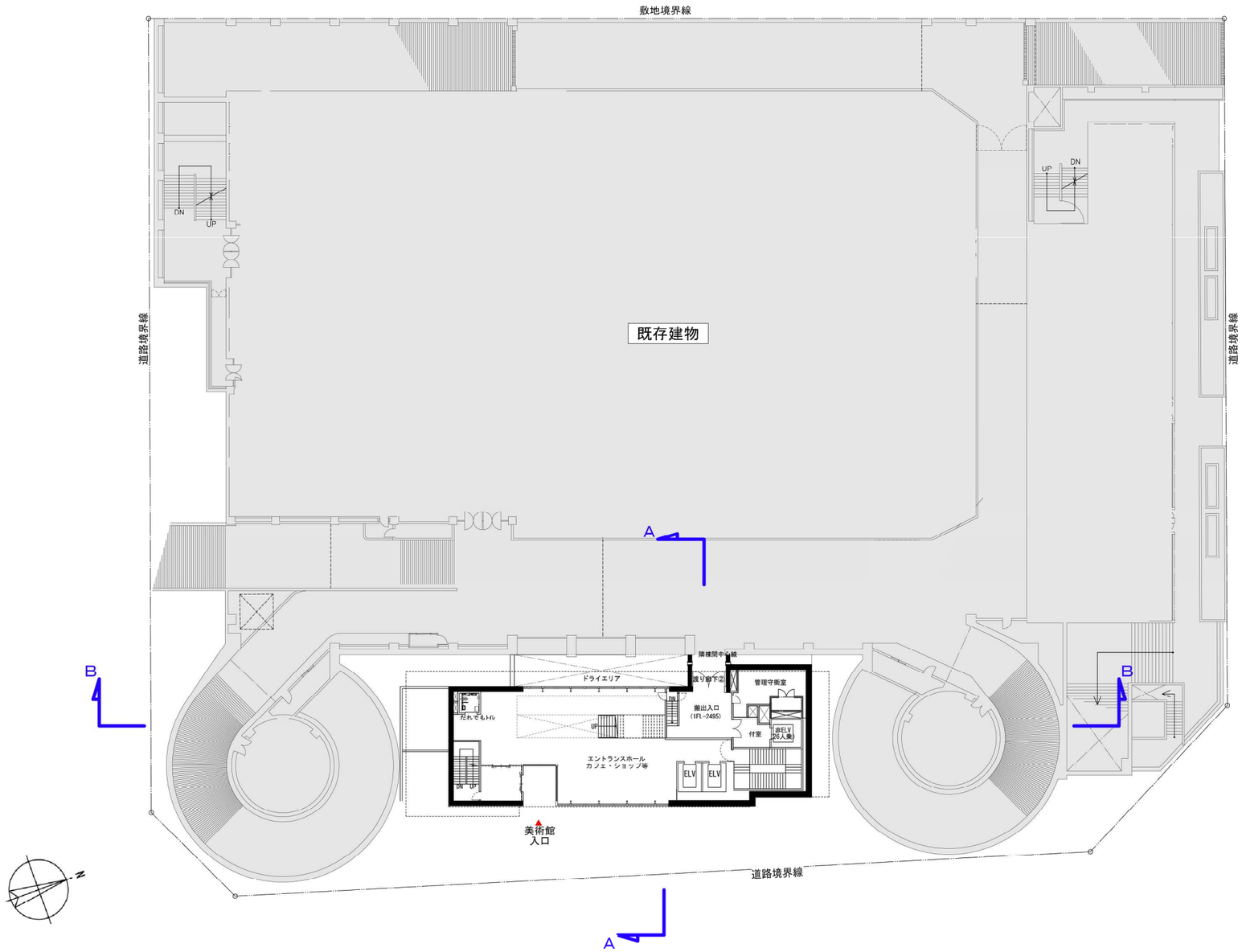


※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

平面図

■1階平面図（既存B1階）　S=1:500



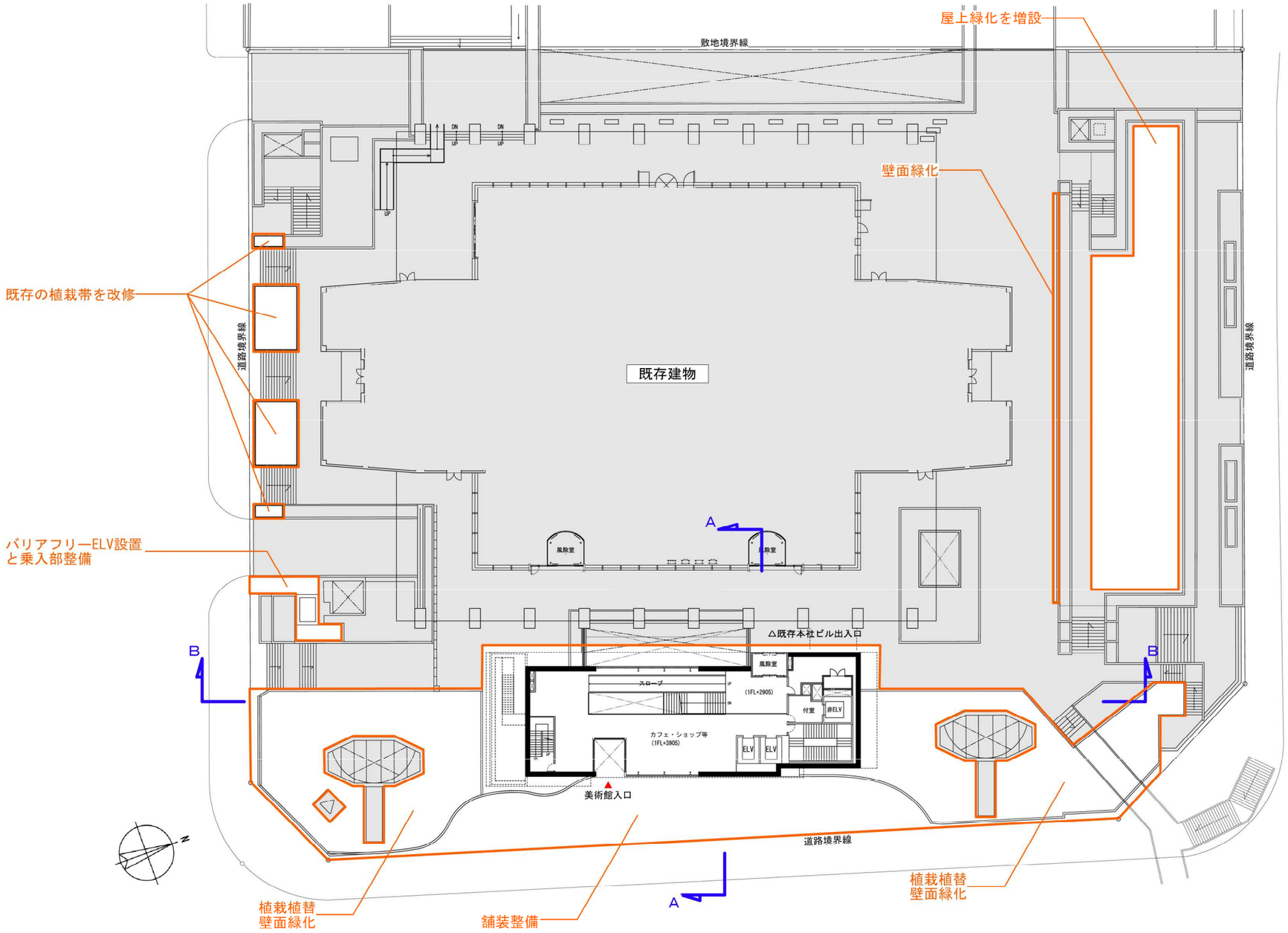
…既存部分（工事範囲外）

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

平面図

■2階平面図（既存1階）　S=1:500

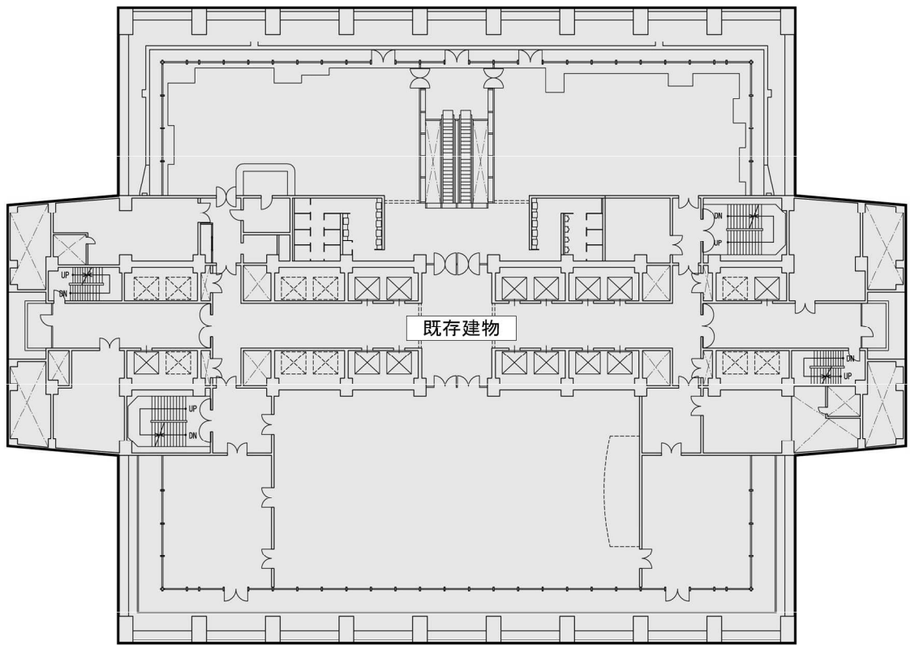


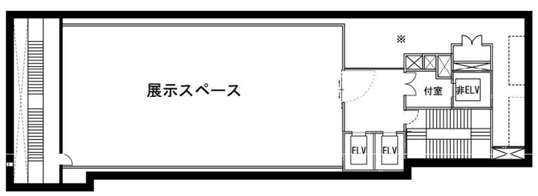
※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

平面図

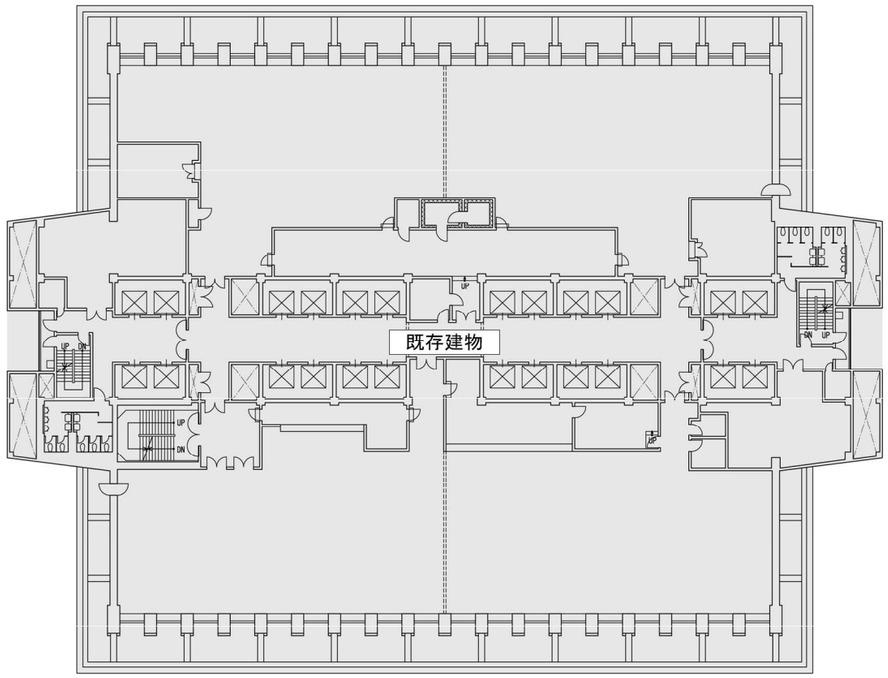
■3階平面図（既存2階）　S=1:500

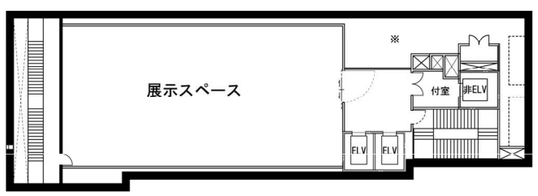




※トイレ・レストルーム・設備室

■4階平面図（既存3階）　S=1:500





※トイレ・レストルーム・設備室

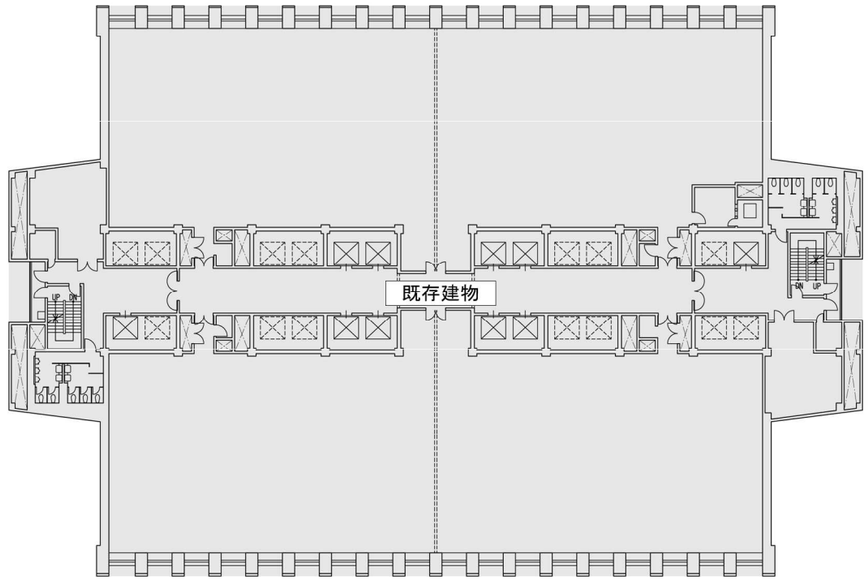
…既存部分（工事範囲外）

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

平面図

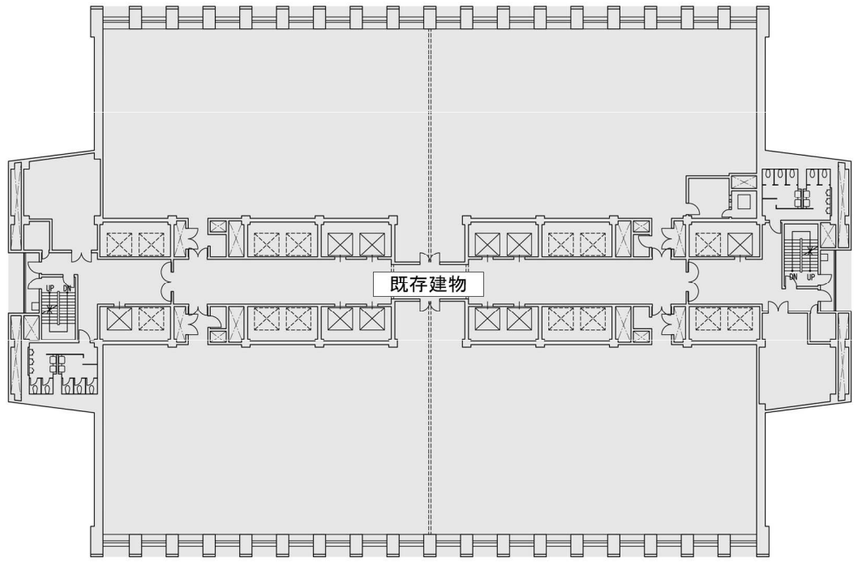
■5階平面図（既存4階）　S=1:500

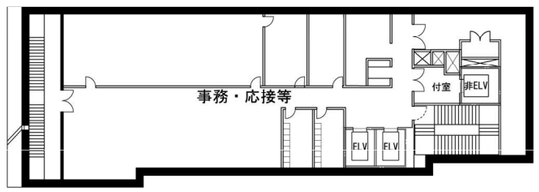




※トイレ・レストルーム・設備室

■6階平面図（既存5階）　S=1:500





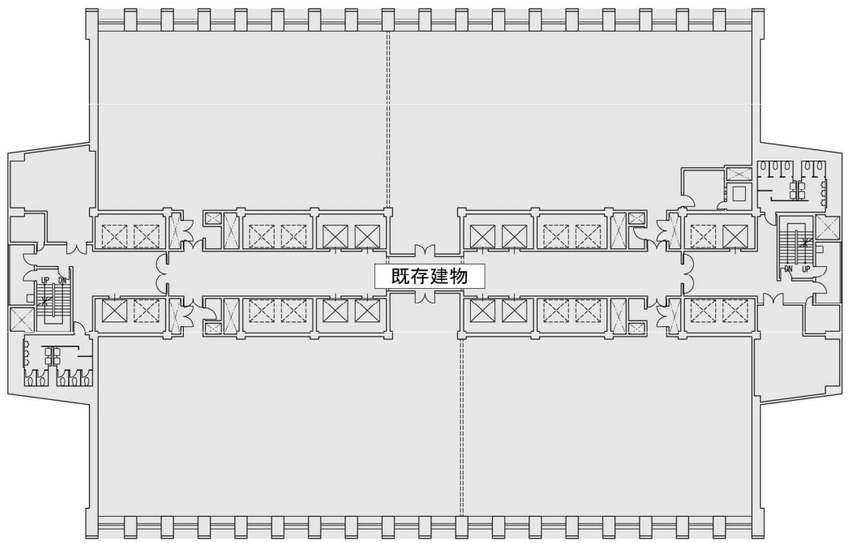
…既存部分（工事範囲外）

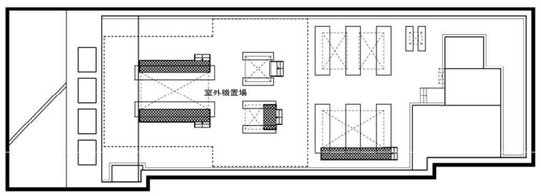
※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

平面図

■R階平面図（既存6階）　S=1:500





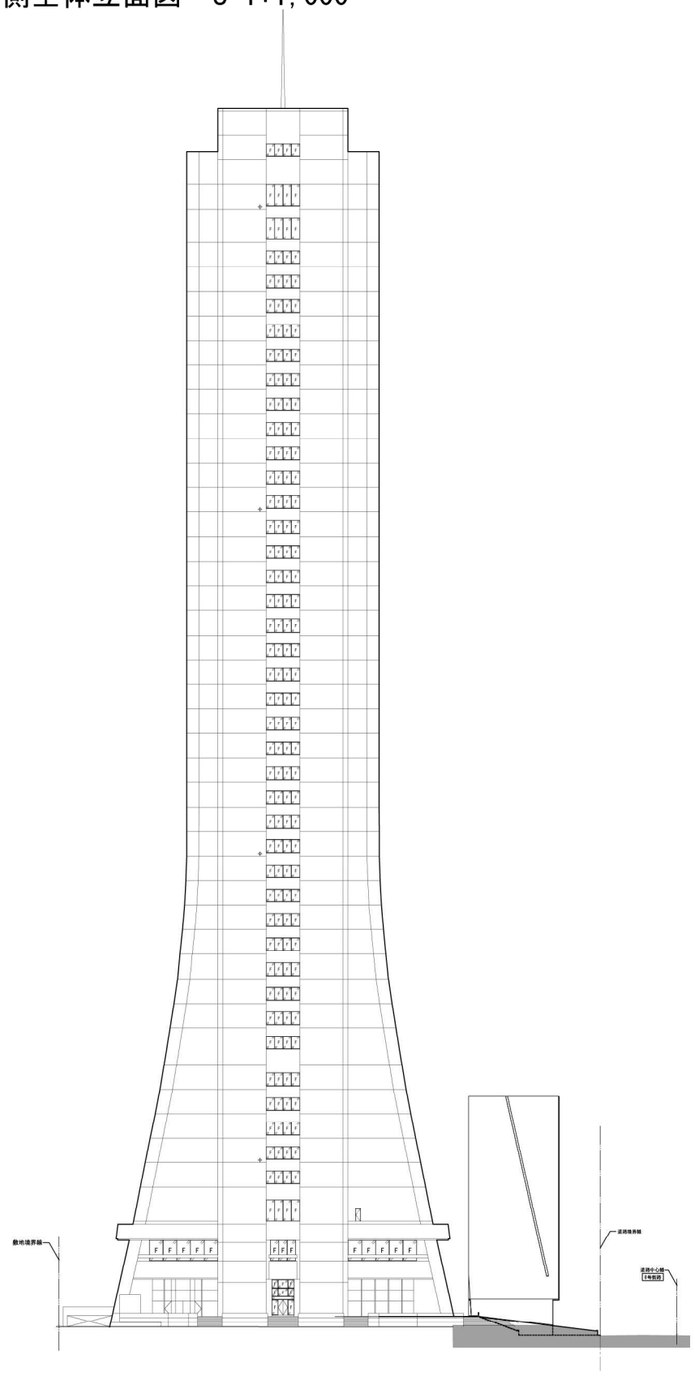
…既存部分（工事範囲外）

※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

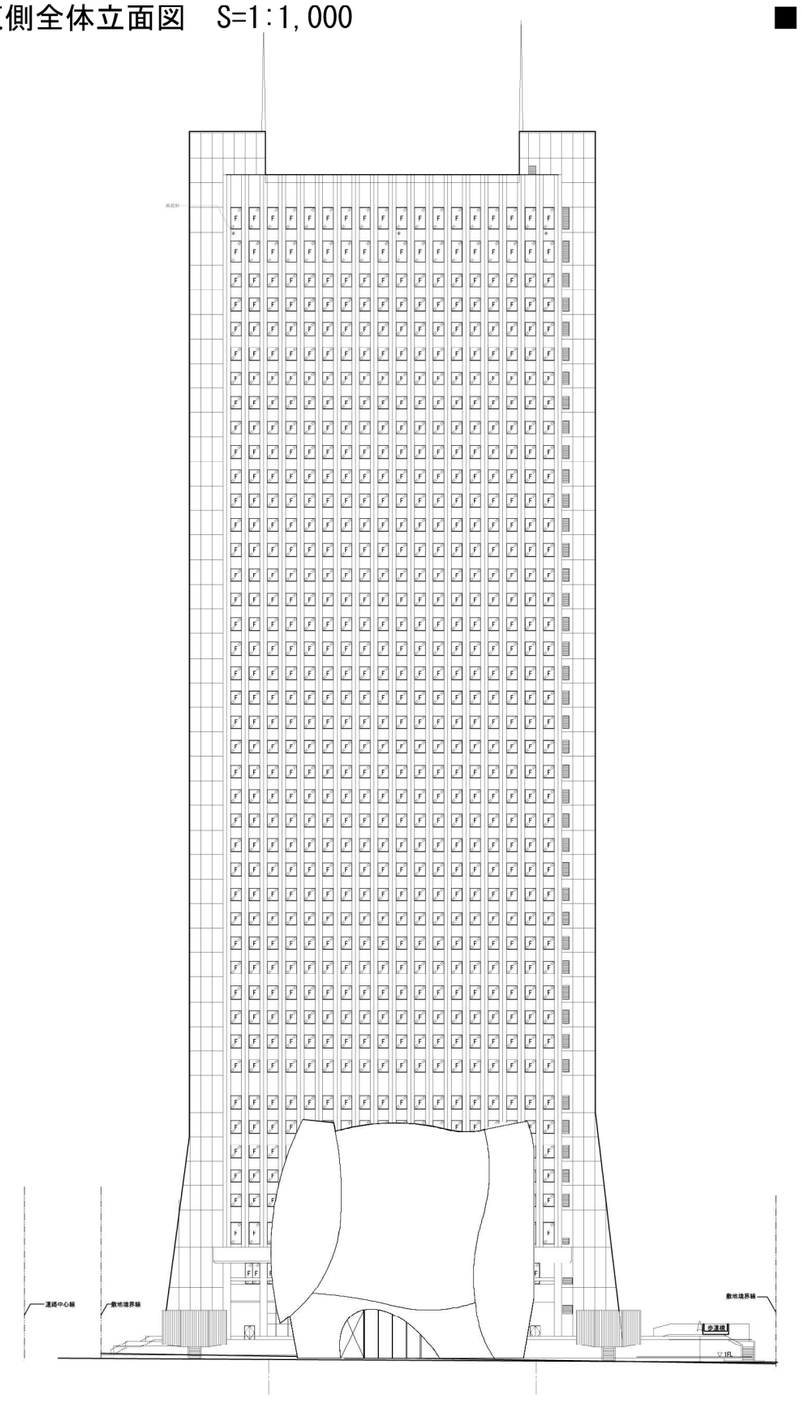
2016.11.08

立面図

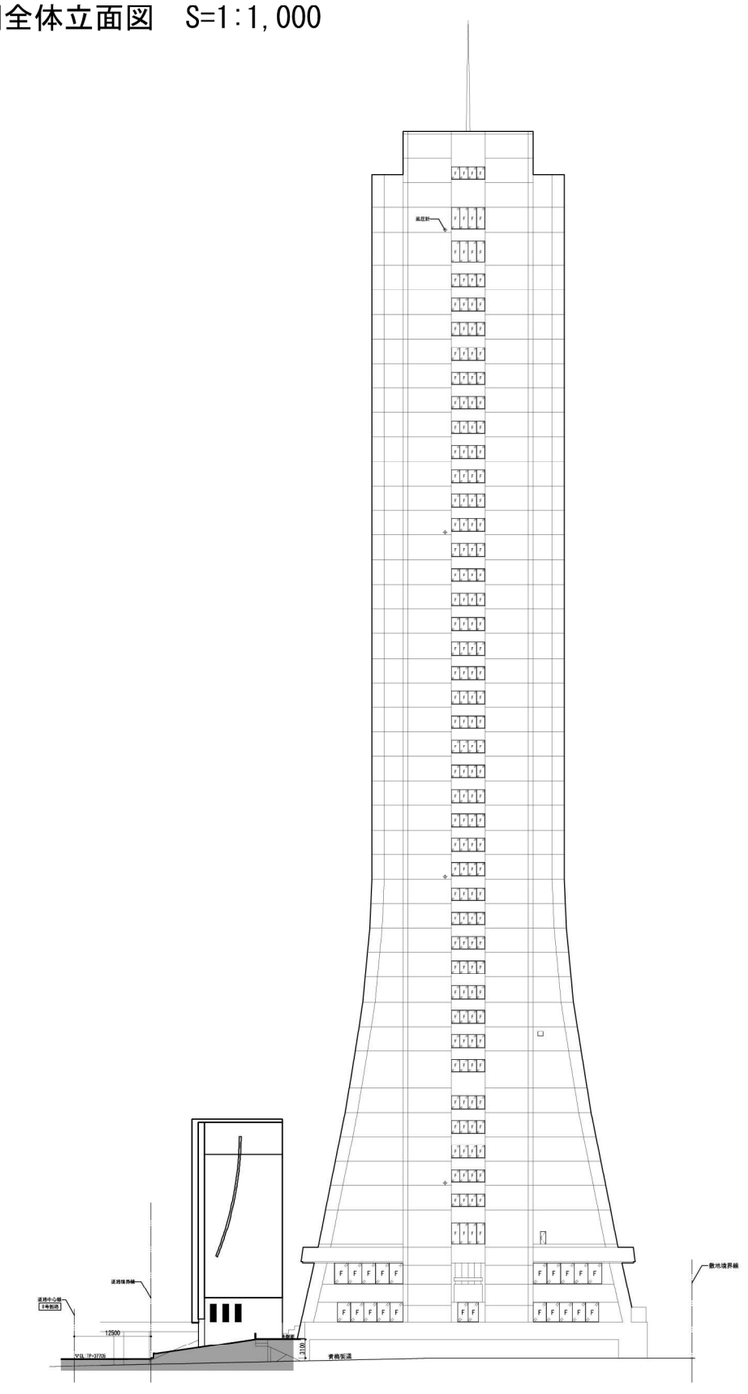
■南側全体立面図　S=1:1,000



■東側全体立面図　S=1:1,000



■北側全体立面図　S=1:1,000

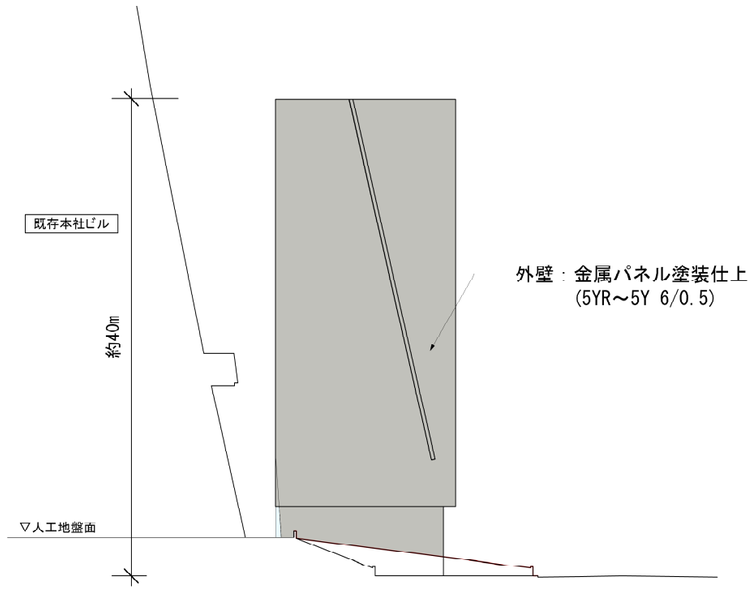


※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

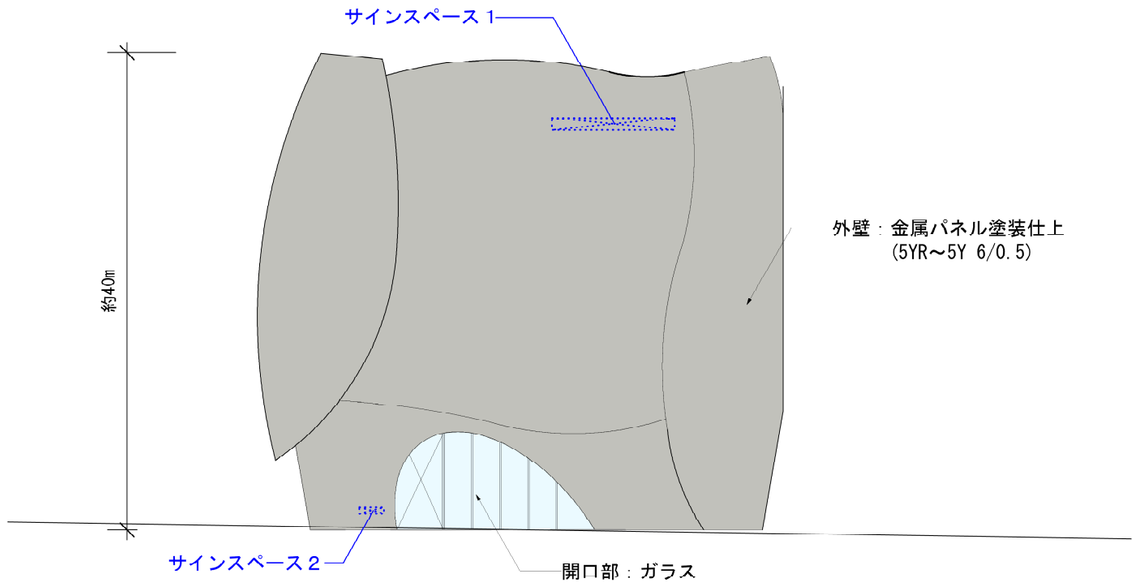
2016.11.08

立面図

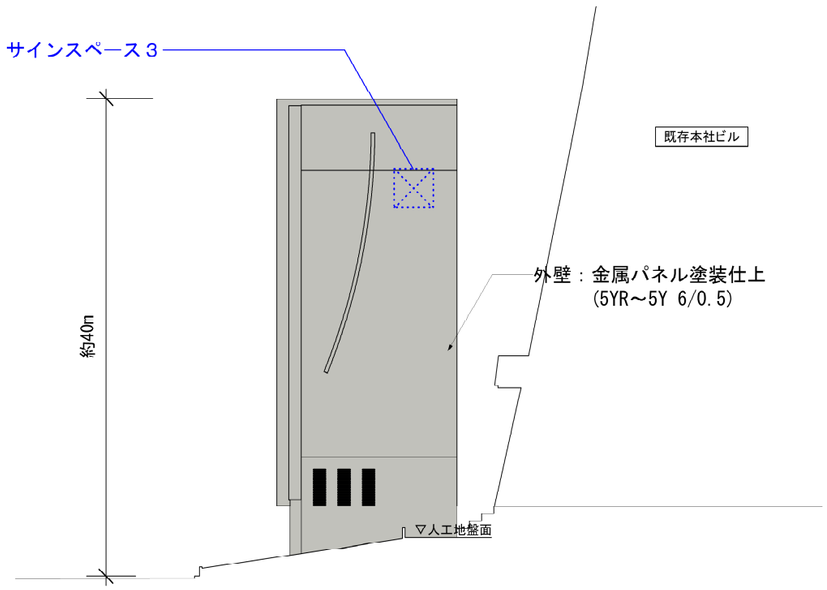
■南側立面図(5号街路側)　S=1:500



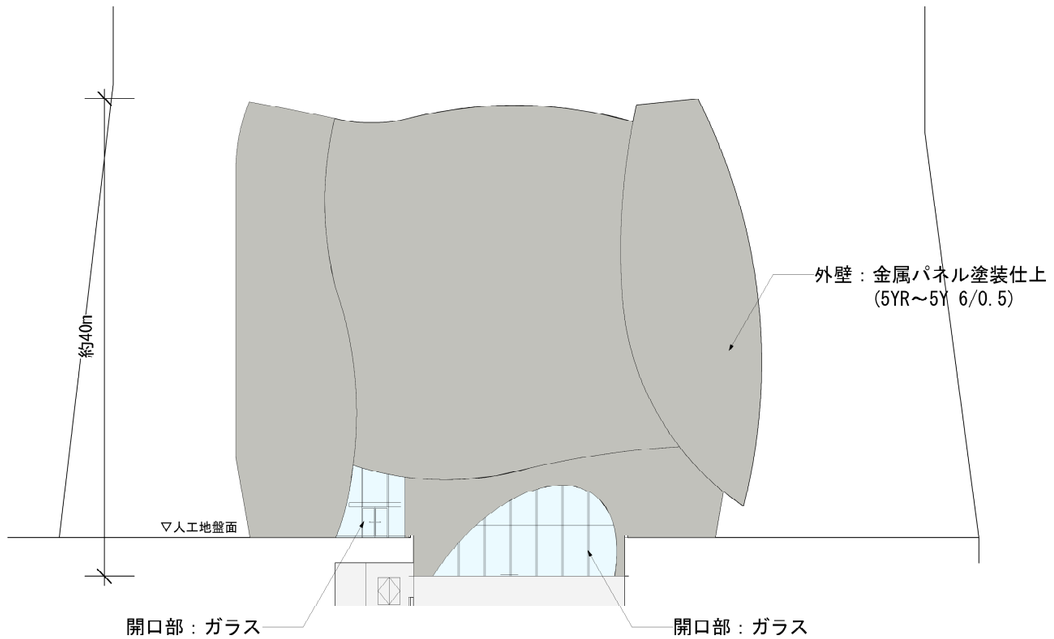
■東側立面図(8号街路側)　S=1:500



■北側立面図(青梅街道側)　S=1:500



■西側立面図(本社ビル側)　S=1:500

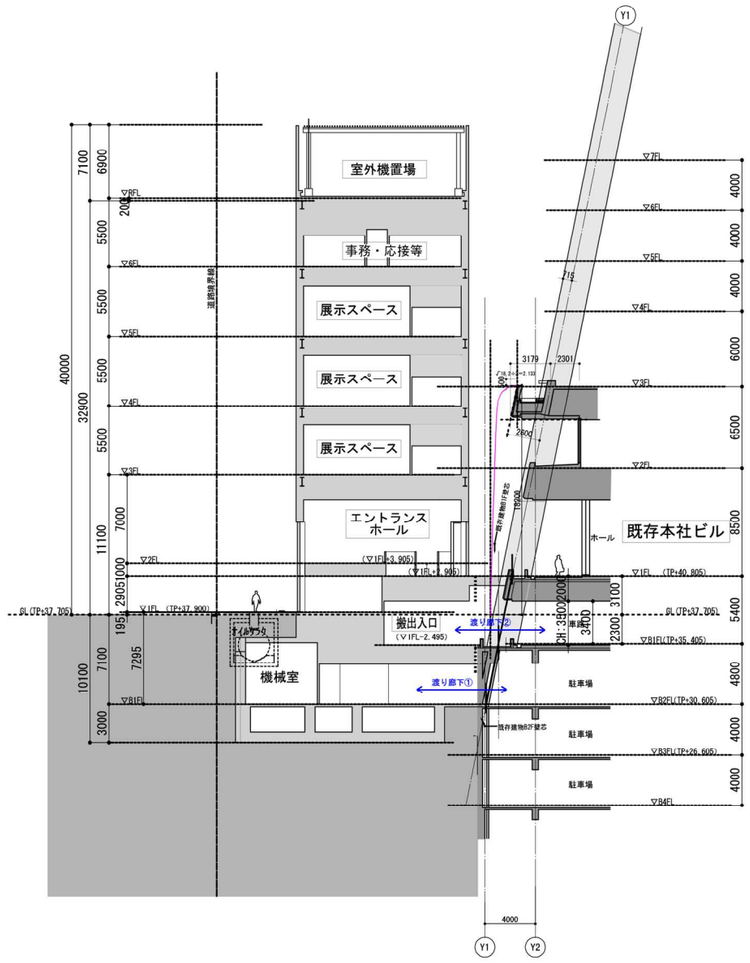


※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

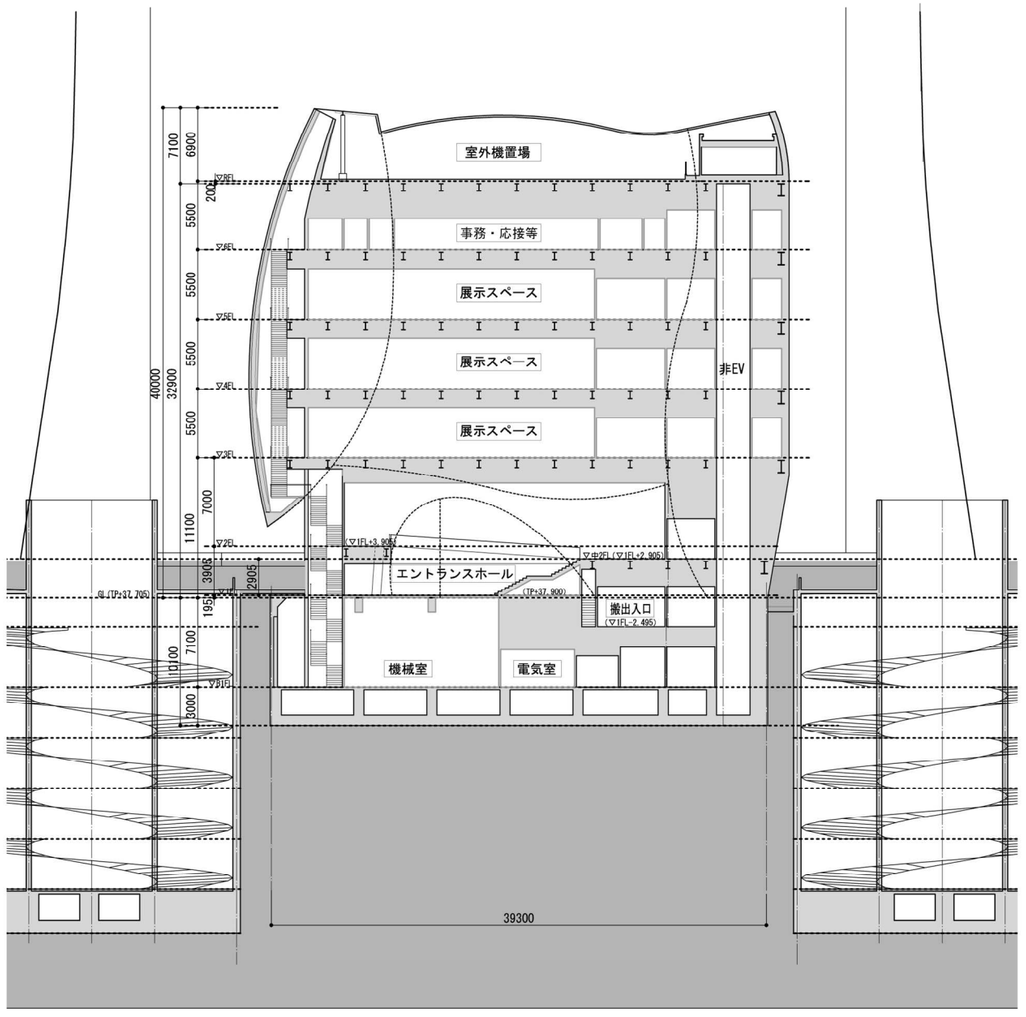
2016.11.08

断面図

■東西断面図（Ａ－Ａ断面）　S=1:500



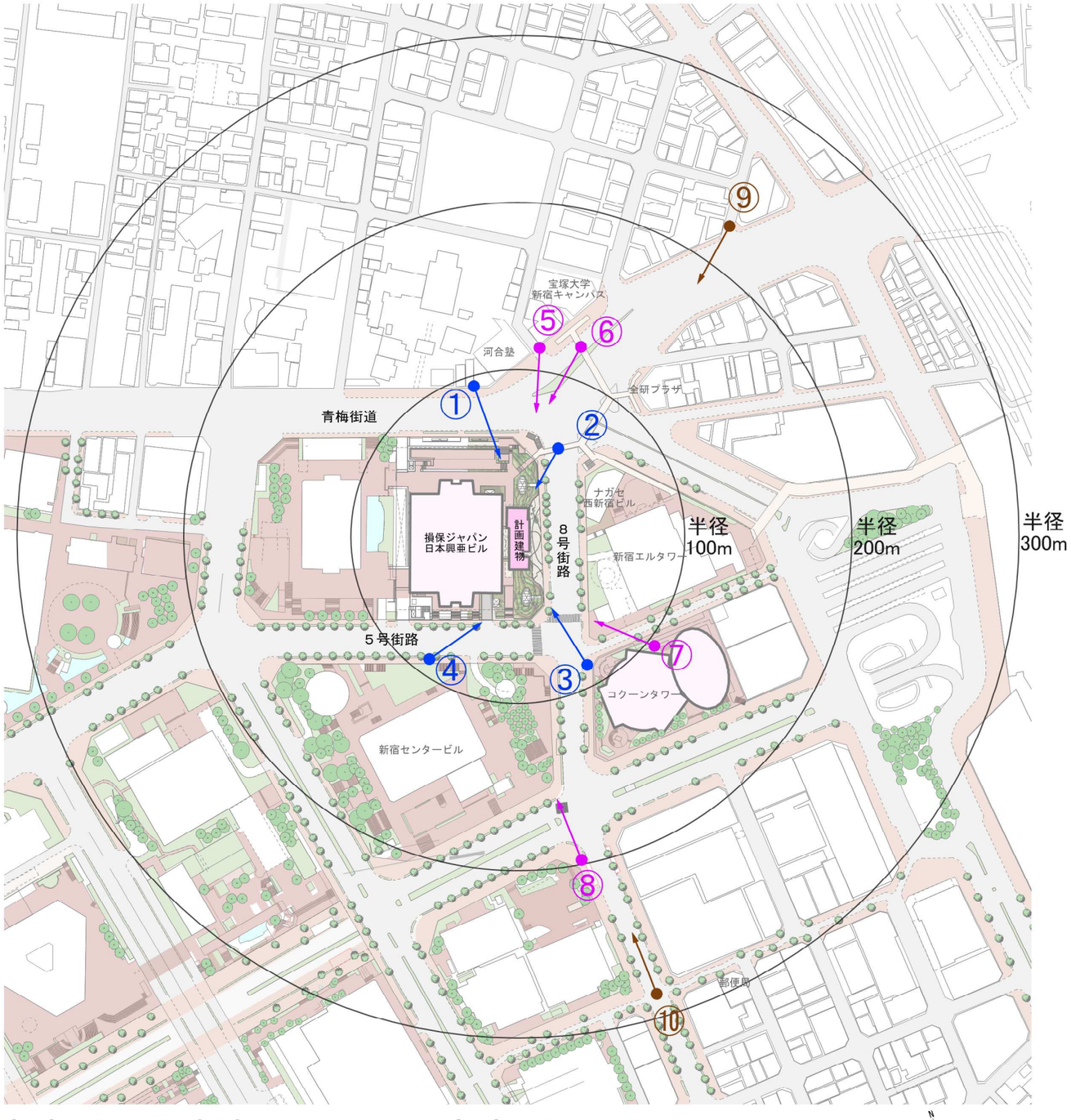
■南北断面図（Ｂ－Ｂ断面）　S=1:500



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

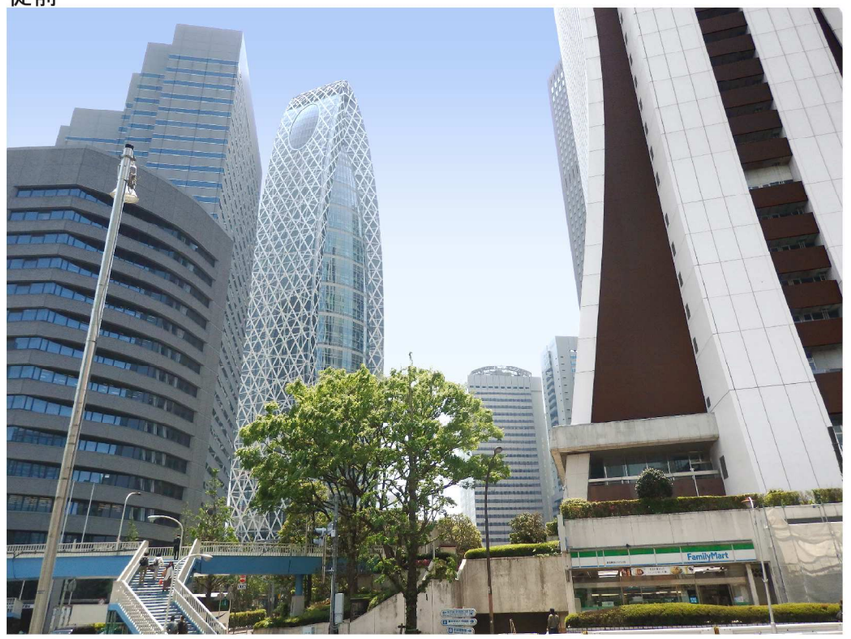
7. 景観シミュレーション



①～④：半径100m内　⑤～⑧：半径100m～200m内　⑨～⑩：半径200m超

①

従前



従後



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

②

従前



従後



③

従前



従後



④

従前



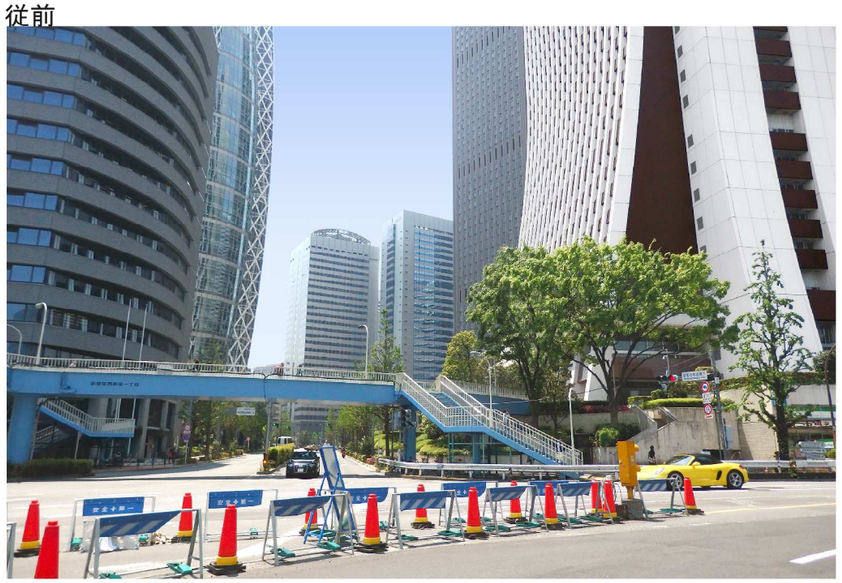
従後



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

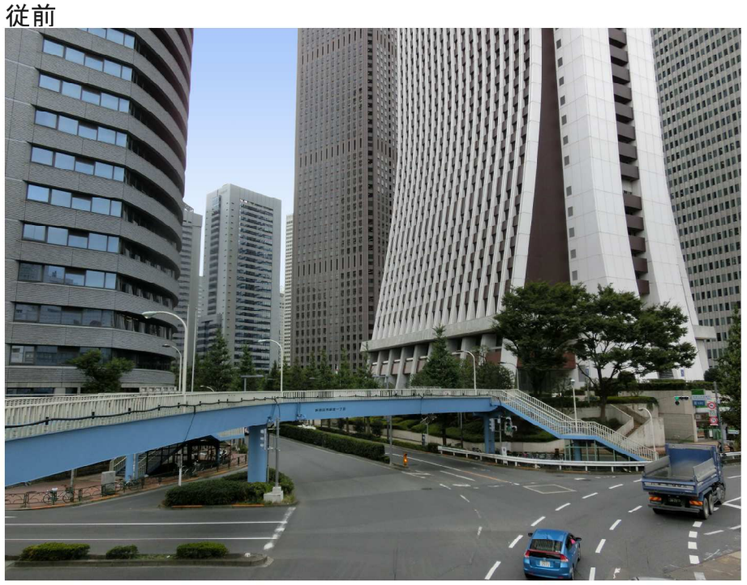
⑤
従前



従後



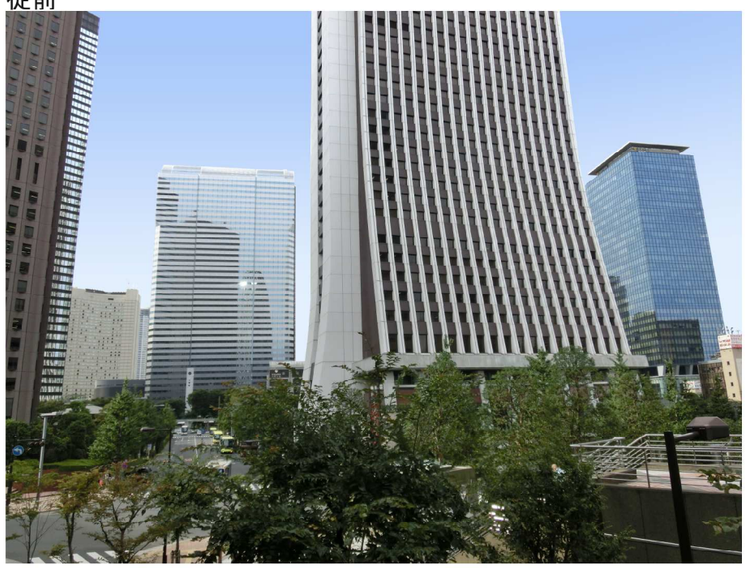
⑥
従前



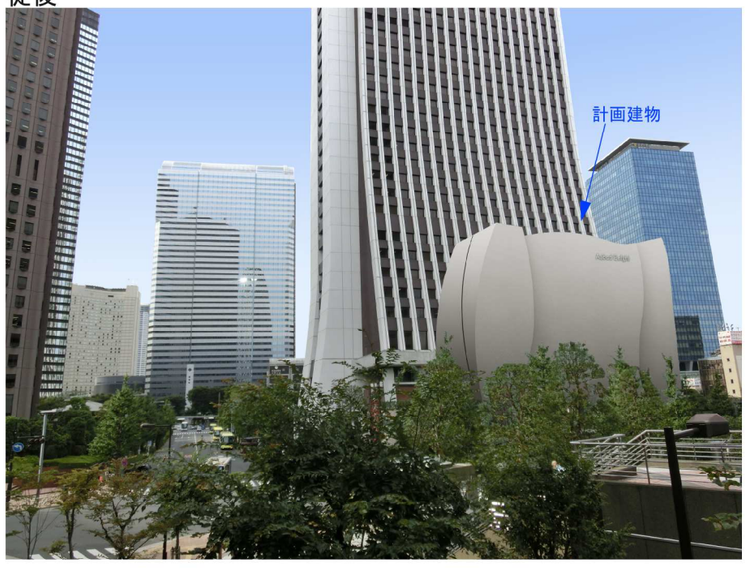
従後



⑦
従前



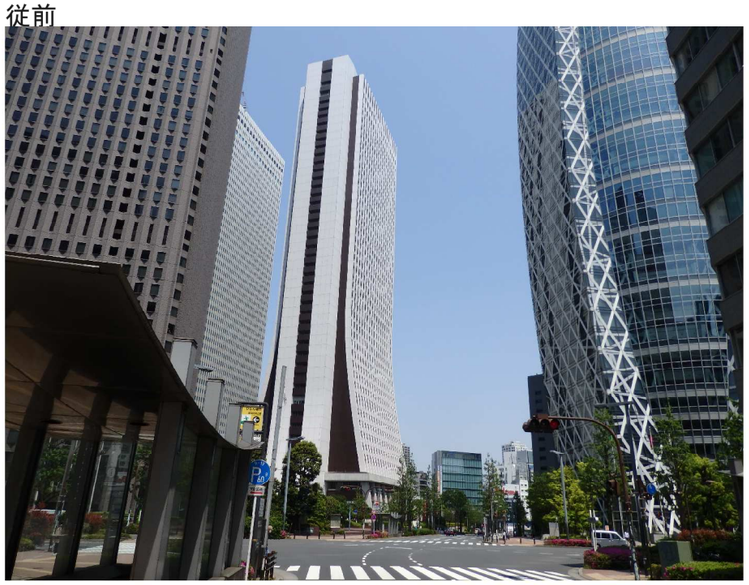
従後



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08

⑧
従前



従前



⑨
従前



従前



⑩
従前



従前



※本資料は構想検討段階の資料です。
※今後変更の可能性があります。

2016.11.08